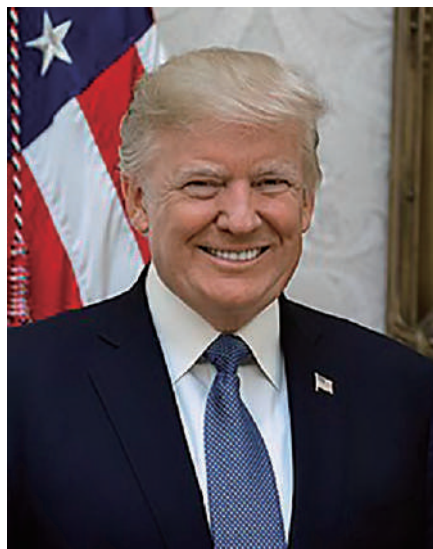


ドナルド・トランプ 大統領就任と米朝首脳会談



2017年1月20日、45代アメリカ大統領にドナルド・トランプ大統領が就任した。選挙結果はまさかの連続だった。16人の共和党の大統領補者を破って、政界にはあまり知られていなかったドナルド・トランプ氏が候補者に決まった。民主党の候補者、ヒラリー・クリントン氏が勝つと予想されていた大統領選挙でも、一般投票数では負けていたにもかかわらず、トランプ氏が勝利した。軍歴や政府の官職の経験が全くない彼の政策はナショナリズム、ポピュリズム、保護主義のアメリカ第一主義「アメリカファースト」だった。

その結果として、環太平洋パートナーシップ協定（TPP）貿易交渉、気候変動に関するパリ協定、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）、イラン核合意、中距離核戦略全廃条約、世界保健機関（WHO）からアメリカは脱退した。また、厳しい移民政策で移民の拘留により離散家族を増加させた。

隣国のメキシコとの国境には新しく壁を作り、外交紛争まで起こした。世界の警察と自他が認め、世界の問題にさまざまに介入してきた超強大国アメリカが、自国利益追求のためだけの大国家になってしまった。

アメリカと北韓との関係では、2018年6月12日シンガポールで「北米首脳会談」が初めて開催された。その後、2019年2月27日には、第2回首脳会談がベトナムのハノイで、同年6月30日に板門店で第3回首脳会談が行われた。シンガポールでの首脳会談の後、韓・米両国の大統領に関してノーベル平和賞の可能性が騒がれたが、一夜の夢物語で終わり、その後は何の進展もなく現在まで膠着状態が続いている。2021年大統領の再選に負けたトランプ大統領の「アメリカファースト」は、いつの間にか「ひとりよがりなトランプファースト」の劇場になっていた。そして、その幕はついに下りた。



主要行事

● 済州道にて親睦旅行会開催

2016年度の親睦旅行会が、11月11日～13日の2泊3日、済州道で開催され、顧問・役員・理事・会員・婦人会・青年部など、総勢33名が参加した。

初日は空港到着後、昼食に肉グックスとトンベ肉を食べた後、免税店でショッピングを楽しんだ。夜には、ラマダプラザ済州ホテルからも近い海沿いの刺身屋にて、金方勲政務副知事をはじめとする13名の済州道の各関係機関の方を招いて夕食をとった。

2日目は、朝食にアワビのお粥を食べた後、韓国の最南端に位置する馬羅島へ船で渡った。人口100人ほどの小さな島だが、大海原を眺める絶景スポットや有名な灯台を見たり、島で捕れる天然のアワビやサザエを食べる会員もいた。また、船で松岳山へ行き、昼食に赤アマダイ焼きやサバ焼きを食べたが、近くにお住いの李京旻組織次長のお父様より、歯ごたえがあり、とても美味しい獲れたてのアオリイカを差し入れていただいた。その後、推定樹齢800年にも達する古木や、カヤの樹2,800本以上が群生するビジャ林を観光した。敷地内の遊歩道を散策し、自然を満喫しながらリフレッシュすることができた。夜には、済州ならではの黒豚肉を食べながら、会員同士の交流を深めた。最終日はホテルで朝食後、自由行動。里帰りする人や買い物をする人、各々が楽しみ日本へ戻った。2年ぶりに済州道で親睦旅行を行うことができ、非常に思い出に残る旅行となった。

● 第30回夏季郷土学校・第4回在日済州人次世代韓国語講座 および歴史・文化体験事業開催



2016年8月8日より12日まで「第30回夏季郷土学校」が済州特別自治道人材開発院で開催され、当協会より学生4名が参加した。また、8日から17日まで「第4回在日済州人次世代韓国語講座および歴史・文化体験事業」が済州観光大学で開催され当協会より学生2名が参加した。それに先立ち、引率役員として参加した高隆博常任顧問、夫奉秋会長、高哲明・洪龍次郎・李相訓各副会長5名は、午後2時から済州道庁にて権永洙行政副知事、

金方勲政務副知事、道議会にて申寛弘新議長を表敬訪問した。午後5時から「第4回在日済州人次世代韓国語講座および歴史・文化体験事業」入校式に夫奉秋会長、高哲明副会長が参加した。「第30回夏季郷土学校」入校式には高隆博常任顧問、洪龍次郎、李相訓副会長が参加し、学生たちに応援の挨拶をした。学生たちは、在日済州人センターの見学や4・3平和公園の参拝をはじめ、済州道各地の名所旧跡の見学をした。渋柿染めの体験や乗馬体験・イカダの体験など、ふるさと済州道を精いっぱい楽しんだ。

祖先の故郷、済州でルーツを探す時間

(参加学生 金敏章)

2002年韓日サッカーワールドカップ大会以来（当時5歳）14年ぶりの済州島訪問となりました。済州島を訪問したのが14年前ということもあり、もう一度訪問してみたいという気持ちがありました。すると、祖父の方から済州道での次世代育成プログラムに参加してみないかといった話をいただき、迷うこと無く参加することに決めました。当初、次世代育成プログラムの内容について何も知らない状態で、日本からのみで構成された団体で行くのかと思っていましたが、到着してみると本土から来た韓国人学生が多く、韓国語を話せず読めない自分にとっては友達が作れるかがいちばん心配で戸惑いも多々ありました。しかし、皆とても優しく戸惑いを見せる自分にも積極的に話しかけてくださる方々が多く、お互いに伝わらない事も少しばかりありましたが、一生懸命私に伝えようとしてくださいました。そのおかげで、当初あった戸惑いも無くなり楽しい寮生活を送ることができました。

この次世代育成プロジェクトでは、済州島の悲慘な過去の歴史から独自の文化や風習について学ぶことができました。その他にも、エコランドや乗馬体験、綺麗な海や自然に囲まれながら行った済州伝統の筏、テウ体験を楽しむことができました。この体験を通し、同じルーツを持った人たちとの輪が広がり、さらには済州島の素晴らしさを実感し、済州島のルーツを持てたことに誇りを持つことができました。今後もこのような事業に若い世代が参加して韓国済州島の素晴らしさを体験し、在日の済州道のルーツを持つ人たちだけでなく、海外に住む同じルーツを持つ人たちとも交流し輪を世界に広げて欲しいと思います。



●2016グローバル済州商工人リーダーシップフォーラム開催

2016年9月25日から2泊3日にわたり済州商工会議所主催で「2016グローバル済州商工人リーダーシップフォーラム」が済州ロッテシティホテルにて開催された。これは2009年から4回にわたり「グローバル済州商工人大会」という題名で開催されていた行事を2年ぶり新たに済州商工会議所主催、済州特別自治道の後援で開催されたもの。国内外済州出身商工人、海外バイヤー200名余りが参加した中、当協会から高隆博常任顧問、夫奉秋会長、康用根事業部長、金聖宗渉外次長が参加し、済州商工会議所金大亨会長をはじめ多くの済州道政財界の方々と交流をした。「もっと大きい済州に向けての準備」のスローガンのもと、ビジネスバイヤー輸出相談会と商工人フォーラ

ムが開かれ、席上、在日韓国商工会議所 金光一会長（当協会相談役）と夫奉秋会長が、「済州が成長するにあたり望ましい未来像と本大会発展のための意見」を発表した。開催に先立ち、8月25日同大会広報のため、日本訪問団として済州商工会議所 金大亨会長ほか6名が来訪し、呉賛益・鄭平普・高尚弘・李大浩各顧問、高隆博常任顧問、夫奉秋会長、洪龍次郎副会長と意見交換を行った。



●在京道民会役員合同懇親会に参加

2016年12月4日、新宿にある韓国焼肉高麗にて「2016年在京道民会役員合同懇親会」が、在日全北道民会主催で開催された。総勢48名が参加した中、当協会からは夫奉秋会長、李相訓副会長2名が参加した。他道民会役員と意見交換しながら交流を深める楽しい時間を過ごすことができた。また来年は、在日関東地区忠清道民会が幹事役に決まった。

●第55回耽羅文化祭

第55回耽羅文化祭が2016年10月5日から9日まで済州市塔洞広場にて開催された。5日、開幕式が行われる予定だったが4日から5日にかけて済州道を直撃した台風チャバの影響により中止となった。午後5時半からオリエンタルホテルにて耽羅文化祭慶祝晩餐が開かれ、当協会から呉賛益顧問、高隆博常任顧問、夫奉秋会長、洪龍次郎副会長が参加した。毎年寄贈していた祝い金100万ウォンは用意していたものの、韓国で9月28日より「不正の請託および金品等の授受の禁止に関する法律＝キム・ヨンラン法」の施行により手渡しが出来なかった。

●懇親忘年会開かれる

懇親忘年会が2016年12月5日上野ホテルパークサイドにて開かれ、高琿鉉顧問をはじめ顧問10名と相談役では金秀吉相談役をはじめ6名、執行部14名、青年部2名、総勢32名が参加した。

まず、3月8日永眠された当協会の張潤鍾相談役、9月16日に永眠された金富鉉理事のご霊前に黙祷を捧げた。次に、夫奉秋会長の協会運営報告があり、顧問・相談役より労いの言葉があった。また、2016年度済州特別自治道文化賞に選定された鄭平普顧問に拍手をもって慶びを分かち合った。

1年間を振りかえり、新年にはもっと団結し協会を活性化することを誓いながら有益な忘年会となった。

●2017年家族同伴新年会・成人式開催

毎年恒例の家族同伴新年会・成人式が2017年1月21日にホテル椿山荘東京で開催され、来賓を含め450名余りの参加があり、盛大に開催された。

元喜龍道知事は公務のため欠席だったが、済州特別自治道からは全聖泰行政副知事、申寛弘道議会議長、李碩文教育監、許香珍済州大学総長をはじめ、済州の各関連機関より37名の参加があった。また国内からは、民団中央本部 韓在銀監察委員長、金成日副団長、民団東京本部 金秀吉団長をはじめ、各関連団体長ならびに多くの方が列席した。

式典は夫奉秋会長の新年の挨拶に始まり、全聖泰行政副知事、呉公太民団中央本部団長（代読：金成日副団長）、ならびに各関連団体の来賓の方より祝辞を賜った。そして、済州道民協会の事業に功労したとして、姜丞宝監査と宋信彦監査に済州特別自治道知事より表彰牌が贈られた。また、在日済州婦人会と、済州道各機関との間でプレゼントの交換が行われた。加えて、済州道庁とMBCが共同企画・制作した「誇らしい在日済州人」のDVDと本の伝達式が行われ、済州MBC 呉承澈報道制作局長より、夫奉秋会長に手渡された。成人式では、新成人6名（金樹里・金敏章・鄭平蔵・秦加純・高葵里・金大河）が参加し、夫奉秋会長からの祝辞とともに、当協会ならびに済州道各機関より数多くの記念品が贈呈された。新成人を代表して、秦加純さんが将来への抱負を答辞として述べた。2部の懇親会は、高隆博常任顧問の乾杯で始まり、金起先さんと高マサミさんのステージが披露された。歓談後に行われた青年部主導の恒例のビンゴゲームと抽選会では、ラマダブラザ済州ホテル様よりホテル宿泊券が、大韓航空様・エアプサン様より済州・釜山行きの往復航空券など数多くの豪華景品が提供され、大人も子どもも楽しむことができた。

●「沼津・箱根ぶらり」日帰りバス旅行



第4回家族同伴日帰り旅行会が2017年5月21日に開催された。当日は夏日のような晴天に恵まれ、各会員・婦人会員や家族など33名が参加した。

今回は「沼津・箱根ぶらり旅行」ということで、まずはじめにアサヒビール神奈川工場を見学。実際にビールをつくる大きな装置を見ることができ、つくるまでの工程も説明してもらった。最後にはレストランにてジュースや数種類の生ビールのサービスがあり、非常に美味しく、ほとんどの方が2杯～3杯は飲まれていた。続いて沼津にある寿司割烹「ひろちゃん」にて、新鮮なお刺身、天ぷらなどの懐石料理やお子さまランチをいただき、楽しく昼食をとった。

午後からは伊豆フルーツパークでいちご狩りを楽しんだ。自分たちで好みのいちごを自由に採り、昼食後の別腹としてたくさんいただいた。練乳をつけなくても非常に

甘く美味しかった。それから一行は、箱根町港から観光船に乗り、桃源台港まで約30分の間、初夏の山々の新緑や芦ノ湖の雄大な景色を楽しんだ。

そして東京への帰路では、昨年に続き渋滞の箇所があり到着が大幅に遅れてしまったが、途中で海老名SAにて休憩をとり、バスの中では恒例のビンゴゲームと到着時間当てクイズやDVD鑑賞などで和やかに過ごした。

●200万都市札幌で障がい者を招いてバリアフリーイベント開催



2017年5月28日、当協会 呉哲新理事が経営する夜のダンスクラブ「KING∞XMHU」（キング・ムー、札幌市中央区）において、障害のあるなしに関係なく音楽を楽しむイベントが開かれた。2016年4月営業開始以来、目標に掲げ計画されたもので、障害支援にかかわる札幌の市民団体代表をはじめ札幌で障害児にダンスを教えて来たイベント経営会社社長や福利資格者の協力を得て開かれた。

キング・ムーは鉄筋コンクリート3階建て延べ約1,200平方メートル、最大収容人数は約1,000人。「ムー大陸」をイメージしたと言う古代遺跡のような独特な外観と内装。車いすの人や白杖を持った人、盲導犬を連れた人など約300人が参加しダンスミュージックと交流を楽しんだ。

イベントは入場料無料で午後3時から6時まで行われた。通常20歳未満は入場禁止だが、当日は年齢制限を設けず、障害者手帳を持つ方と20歳未満の方はドリンクも無料とした。耳の聞こえない人のためにスタッフは筆談用のホワイトボードを持ち、車いす用の仮設トイレも設置した。子ども連れでも楽しめるよう、授乳スペース、おむつの交換スペースやキッズスペースも設けた。保育士、児童指導員、理学療法士、言語聴覚士など約10人の資格者も配置された。車いす利用者については、会場のスペースと安全性を考慮して30台までの事前予約制とした。1万～10万円の協賛をはじめ収益はすべて札幌市の「サポートほっと基金」に寄付される。呉哲新氏は今後も年1回は開催したいと考えている。第30代執行部で募った協賛金15万円を寄託した。

組 織

●第57期役員

顧問：高瑋鉉 高章守 李時香 夫昇培 金和男 李淳元 李徳雄 金英秀
呉賛益 鄭平普 高尚弘 李大浩
常任顧問：高隆博
相談役：梁直基 呉益鐘 黄昌柱 李 権 韓在銀 高富仁 金秀吉 呉敬進
金修一 康大熙 金光一 慎龍九 金用實 金昌世 金成日 朴時男
呉仁敦

会 長：夫奉秋
副 会 長：高哲明 洪龍次郎 副会長 兼 総務部長：李相訓
財務部長：宋暎民 事業部長：康用根 宣伝部長：金建夫
国際部長：黄璟浩 組織部長：梁日勲 渉外部長：金哲祥
総務次長：金帝憲 財務次長：呉哲新
組織次長：李京旻 渉外次長：金聖宗
青年部長：李昌明 監査：姜丞宝 宋信彦



第45号

第46号

●協会ニュース発行

第45号（2016年8月19日）

第46号（2017年2月28日）

定期総会

●第57回定期総会開催



「第57回定期総会」が2017年6月24日上野ホテルパークサイドにおいて、理事・会員・婦人会役員・青年部役員諸氏63名が参加のうえ開催された。

定期総会は、夫奉秋会長の挨拶で始まり、李大浩顧問の挨拶があった。その後、議案審議に入り、2016年度事業報告および決算報告が承認され、新年度の事業計画および予算案を執行部の原案通り可決した。また、青年部の事業報告・会計報告、新年度活動案および予算案も承認された。続いて役員の改選に移り、李相訓新会長（第31代）と新執行部が選出された。李相訓新会長より協会運営に対する決意表明があり、高哲明副会長の閉会辞で、総会を無事に終了した。引き続き、高隆博顧問の乾杯音頭で懇親会が始まった。懇親会では、民団中央本部監察委員長 韓在銀相談役や民団東京地方本部団長 金秀吉相談役、在日韓国商工会議所会長 金光一相談役、婦人会 左玉花常任顧問の挨拶があった。また、新執行部・理事・会員と、青年部の紹介などがあり、和やかな雰囲気の中、黄璟浩副会長の閉会辞で終了した。

●(株)済京第15期定時株主総会開催

(株)済京の「第15回定時株主総会」が2017年5月20日文京区湯島の本社会議室にて、この議決権の総数（発行済株式数800株、株主総数31名）のうち定足数たる株主の出席があり、総会は適法に成立するとの成立宣言の後、高尚弘道民協会顧問の進行役のもと開会された。

議案審議のなかで第15期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）決算の事業報告および計算書類承認について概況説明が行われ、満場一致で承認された。

また、取締役全員の任期が本会終了後の時をもって満了となり、現取締役である呉賛益、李徳雄、李時香、高富仁、金和男、金光一氏6名の重任が満場一致で承認された。

●青年部 青年部長代理 金児盛

〈活動報告〉

①定例会：総3回開催（8月 8名／11月 16名／4月 12名）

②忘年会：11月30日 30名

③新年会：1月21日 12名

④道民協会行事参加として

11月11～13日 済州島親睦旅行（5名）、1月21日新年会・成人式（16名）、5月21日日帰りバス旅行（3名）に参加しました。

〈現在の青年部について〉

・対象年齢：18～45才 ・会員数：40名（名簿上）

Lineグループ：46名、Facebookグループ42名が在籍中ではありますが、正確な連絡先や勤務先が不明瞭であり、名簿を作成致しました。現在も追加中であり、今後に繋げていきたい。

2013年から3年の間、1人で青年部を支えて来た李昌明青年部長の後を未熟ながら代理として務めさせていただきました。最初は右も左も分からない状況でしたが、当協会執行部および、青年部の先輩・会員方々の強力なサポートもあり、現在に至っております。振り返ってみると定例会の頻度やその他のイベントに関しても反省点ばかりであります。

毎回の定例会に明確な趣旨説明や経過報告をしておらず、懇親会として終わる傾向でありました。数字だけで見ると会員も増えたように見えますが、現在のような形式では定例会への参加意義を失われると思われます。来期からは量より質の方を大事にする集まりにして行きたいと思います。予算に関しても理解が足りず、今期は先輩方々に多大なる援助をしていただきました。協会からのサポートをきちんと生かせず、会員たちのチャンスを奪ってしまった結果となりました。今後はしっかり計画を立て、意義のある活動に予算分配をしていきたいと思っています。

● 済友会ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第142回	2016年7月5日	フレンドシップC・C	金聖宗
第143回	2016年10月28日	板東ゴルフクラブ	金聖淑
第144回	2017年3月22日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	金哲洋

在日済州婦人会

● 第20回定期総会・送年会

2016年12月3日「第20回定期総会と送年会」がホテルパークサイドにおいて開催された。在日本関東済州道民協会から夫奉秋会長をはじめ、鄭平普顧問、役員が参席し、まさに在日済州婦人会が初代韓道淑会長から20周年という記念すべき定期総会となった。婦人会から紅白饅頭を配り、出席者とともにお祝いをした。金貞子顧問が議長となり、活動報告や収支決算報告がなされ、会員からの意見を審議し、また活動予定についても多数意見が出された。引き続き送年会が開かれ、美味しいお料理に舌鼓を打ちながら、カラオケの順番がなかなか回って来ないほど盛況で楽しい時間を過ごした。「年が明けたら1月21日椿山荘で開かれる在日本関東済州道民協会の家族同伴の新年会でお会いしましょう!」と口々に約束し閉会した。

● 北海道2泊3日の旅行



ゴールデンウィーク明けのさわやかな2017年5月16日から2泊3日の北海道旅行を計画し、22名が参加した。この時期の北海道は厳しい寒さから一気に放たれ、新緑が美しく花という花が一斉に咲き、暑くも寒くもない旅行には最適な季節。期待に胸ふくらませ、朝早く羽田空港に集合。4番時計台付近に手を振りながら嬉しそうに集まる顔、顔。「旅行」とは、すでに荷物を詰めるところから始

まっていることを改めて思い起こした。新千歳空港に着いたときはあいにくの小雨だったが、バスで小樽に移動しながらブーゲンビリアを見るところか、おしゃべりの花が咲き、雨もまったく気にならないほどだった。翌日からは晴天に恵まれ、サッポロビール園でジンギスカン料理とビールで腹ごしらえ。臭みのないお肉は「美味しい〜!」と好評だった。その後大倉山展望台に登った。札幌市街を一望し、石狩平野とジャンプ台のダイナミックさに感激した。夕食後、当協会顧問の呉賛益氏の経営する「キング・ムー」に2次会として遊びに行った。90年代はディスコとして一世を風靡

し、現在はテーマパーク型ダンスクラブとして札幌すすきのでもたいへん人気のある店だ。若者に負けないよう、私たちもカラオケで盛り上がった。やはり旅行は良い観光と美味しいお食事、そして気さくな仲間がいることの大切さを感じた。

会員ニュース

● 鄭平普顧問 2016年度済州特別自治道文化賞受賞

2016年済州特別自治道文化賞授賞式が2016年12月16日午前10時より、済州道文芸会館大劇場にて開催され、国外在外道民部門において当協会の鄭平普顧問が文化賞を受賞した。第55回目を迎えた今年の実賞者は、社会各推薦を通じて申し込まれた候補者を12月3日、都内分野別専門審査委員35人が審査し選んだ。



在日済州人として初めて在日本韓国民団東京地方本部団長を歴任した故鄭興守相談役の長男である鄭平普顧問は、当協会には1986年理事として入会し、監査、副会長を経て第25代会長を歴任。現在顧問として在任中。会長在任中は、「第2回関東・関西役員懇親会」や「在京道民会役員合同懇親会」を済州道にて開催し、在日済州人の和合・団結および在京道民会の地位向上に貢献した。同胞社会では顧問の勤勉さと実行力が認められ、2004年在日済州人として初めて在日本韓国民団埼玉県地方本部団長を2期歴任し、民団財政の再整備と基盤確立のため、組織改編に力を注いだ。さらに、故郷においては1979年、出身地西帰浦市吐坪里会館建立基金をはじめ、村役場の備品村役場に備品と図書館に溶接関連専門書籍などを寄贈し、ワールドカップ競技場、みかん研究所、吐坪里発展基金、西帰浦市教育発展基金を寄託するなど、出身地の福祉と後世教育発展にも大きく貢献した。このような功績が認められ済州道より功労賞、民団中央本部より感謝状、韓国政府より国民勲章石榴章が授与された。

1962年制定された文化賞は、2015年まで国内外道民228人と5団体など合計233人に授与され、済州特別自治道では最も栄誉のある賞と評価されている。

● 左玉花常任顧問済州大学に寄付

在日済州婦人会 左玉花常任顧問が2016年11月15日済州大学に発展基金として1億ウォンを寄付した。伝達式でのインタビューで満面の笑顔で「済州を愛しているから、私が幼かった時は大変貧しくて勉強したくてもすることがあまりにも大変だった。基金が人材育成の基礎になることを願う。私は今年83歳、精神がさらに一進一退する前に後輩のため、役に立つ事をしてあげたかった。人生の先輩として少しでも役に立てれば光栄です。」と述べた。

また、「若者たちが済州に限らず世界に向かって走っていったら良い。夢もタダ、目標もタダ。失敗を恐れずとにかく始めることが肝心」と学生たちに伝えた。



左常任顧問は、西帰浦市西帰洞出身で65年前17歳の時に渡日し、厳しい状況でも勉学に勤しんで明治大学を卒業した後、在日同胞1世代向けに旅行会社を立ち上げ国内・海外旅行を手伝った。さらに1969年済州奨学財団への100万ウォンの寄付をはじめ、2002年には東烘洞公園に3,600万ウォンをかけ、高さ8m規模の時計塔を寄贈した。

婦人会では1997年会創立発起人を務め、2009年第7・8代会長を歴任し、現在常任顧問として会の発展のため尽力している。また、済州奨学財団の理事も務めている。

●注目、人形町交差点トルハルバン装い一新！

中央区日本橋人形町3-8-2、地下鉄日比谷線 人形町駅交差点の通称人形町通り所在、(株)美浜（代表取締役 呉賛益）所有の10階建てビルの壁面に天地5m50cm、幅2m20cmの巨大な済州島観光広告看板が据え付けられており目をひく。

これは2006年9月、呉賛益顧問が済州島への観光客誘致の宣伝広告として、自社ビルの壁面に雨風に耐え長期保存を可能にするため、アルミ板に写真を張り付けたもの。このたび、同ビルの外壁大改修工事に伴い、呉賛益顧問の指示により広告看板も同時に写真を張り替え、夜間は照明でライトアップし、リニューアルした看板としてさらなる効果を挙げている。夜間車で現場を通過される際にはぜひご注目いただきたい。



■在日済州婦人会 金順愛監査が病氣療養中のところ7月15日に永眠され、家族葬で営まれた。（享年67歳）

■金富鉉理事が病氣療養中のところ9月16日永眠され、19日港区南青山梅窓院にて通夜と翌日告別式が営まれた。（享年89歳）

■李國法会員のご母堂張惟淑（宮本えい子）女史が永眠され、10月11日千葉県旭市内葬儀場にて通夜と翌日告別式が営まれた。（享年99歳）

■宋暎民財務部長のご尊父 宋洙元氏が、病氣療養中のところ4月4日永眠され、7日済州道済州大学病院葬儀場にて葬儀が営まれた。（享年77歳）

人物交流

●2016年

- ・7月4日 「在日民団創立70周年記念写真展」済州道開催準備について、金成日相談役兼民団中央本部副団長、同本部企画調整室長権清志、民団文京支部 鄭化榮事務部長、李始禹事務部長が話し合い。
- ・7月11日 第13回定例常任役員会後、鯨処海山にて呉賛益顧問が一席を設け、済州大学李昌益教授、高尚弘・李大浩両顧問、高隆博常任顧問、夫奉秋会長他執行部役員13名総19名が参加。
- ・7月15日 法務省公安調査庁関東公安調査局上席調査官 梶田耕平氏が来訪し、夫奉秋会長と名刺交換。
- ・7月21日 駐日本大韓民国大使官邸にて「第22代李俊揆駐日本大使就任ティーパーティー」が開かれ、夫奉秋会長が参加。
- ・8月2日 「在日民団創立70周年記念写真展」済州道開催準備に付、金成日相談役兼民団中央本部副団長、同本部企画調整室長権清志、民団文京支部 鄭化榮事務部長、李始禹事務部長で打合せ。
- ・10月21日 民団中央本部「創立70周年記念式典・晩餐会」がグランドプリンスホテル国際館パミールにて開催され、夫奉秋会長、李相訓副会長が参加。
- ・11月7日 「誇らしい済州人」事業進行確認のため来日した済州道庁在外道民係 洪豪進係長、担当金起完氏が挨拶のため来訪し、「第16回定例常任役員会」で説明を行った。後、呉賛益顧問が一席

設け、鯨処海山での食事会に高尚弘顧問と夫奉秋会長はじめ執行部11名、済州道庁 洪豪進係長、金起完氏、済州MBC金知恩PD他2名総勢19名参加。

・12月6日 上野精養軒にて東京日韓親善協会連合会の「創立40周年記念祝賀会」が開催され、夫奉秋会長が参加。

●2017年

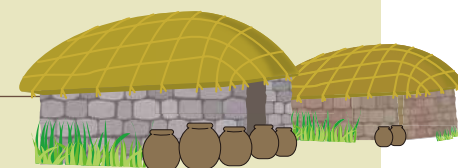
- ・1月21日 済州道から行政副知事 全聖泰一行13名を羽田空港から、康用根事業部長、金聖宗渉外次長がホテルパークサイドまで案内。一行と夫奉秋会長がホテルで合流し、蓮風にて昼食(16名)をとり、会場まで案内。
- ・1月22日 全聖泰行政副知事一行他24名を高隆博常任顧問、夫奉秋会長、李相訓副会長が東京駅まで歓送。
- ・5月19日 (一社)在日韓国商工会議所の「創立第55周年記念式典・祝賀会」が午後4時よりザ・プリンスパークタワー東京にて開催され、当協会関係者が多数参加した中、協会からは夫奉秋会長、洪龍次郎副会長が参加。
- ・6月5日 上野ホテルパークサイドにおいて「顧問会」が開かれ、高瑋鉉顧問他7名、夫奉秋会長他執行部15名、青年部1名の総勢23名が参加。



済州道通信

●第51回済州特別自治道民体育大会

「第51回済州特別自治道民体育大会」が「共に走る道民体典 共に笑う健康済州」のスローガンのもと、2017年4月14日より3日間の日程で西帰浦市カンチャンハク総合競技場にて盛大に行われた。民団各支部総会が盛んに行われている時期だったため、当協会からは夫奉秋会長が参加した。14日午後4時より開かれた開会式には、元喜龍道知事をはじめ、在外済州道民会会員、大勢の来賓、道民たちが参加した。在外道民会の選手たちはチームを結成し、韓国の若者たちに大人気のスポーツのひとつであるサッカーを楽しんでメダルをいただいた。後に、在外済州道民会だけの懇親会が行われ、今後在外済州道民会総聯合会の健全な回復を目指すことを約束しながら家路についた。



文在寅大統領就任、平昌オリンピックと南北首脳会談



2017年5月10日、第19代大統領就任時、文在寅大統領は、次のようにあいさつした。

「私の胸には今、一度も経験したことのない国を造るという情熱があります。そして私の頭は今、統合と共存の新しい世の中を開いていく青写真でいっぱいです」、「まず、権威的な大統領の文化を清算します。準備が整い次第、今の青瓦台から出て、光化門大統領の時代を開きます。国民と常に心を通じ合わせる大統領になります。主要な事案は大統領が直接、メディアに伝えます。一日の終わりには市場に寄って、出会う市民と格式張らない対話を交わします。時には光化門広場で大討論会を開きます」、「何度も繰り返します。文在寅と共に民主党において、機会は平等です。過程は公正です。結果は正義側によるでしょう」。

また、文大統領が「韓半島の平和定着のためならば、私ができるすべての事を行います」と言った通り、2018年2月9日から開催された平昌冬季オリンピックには北朝鮮の選手だけではなく、北朝鮮の金正恩の妹、金与正をはじめトップクラスの要人らが参加した。このオリンピックで日本の羽生結弦選手は、フィギュアスケートで2連覇を達成し国民的な英雄になった。しかし、もっとも感動的なできごとがあった。スピードスケート女子500メートルで、オリンピック3連覇を期待されながら、日本の小平奈緒選手に破れた韓国のイ・サンファ（李相花）選手。リンクの上で崩れ落ちそうになるイ・サンファ選手と彼女を支える小平選手のふたりの姿は世界に感動を与えた。

その後、文大統領と金正恩最高指導者の南北首脳会談は3回にわたって行われた。第1回は2018年4月27日、第2回は2018年5月26日、場所はいずれも板門店であった。（同年6月12日にはシンガポールで北米首脳会談が開かれた）第3回は2018年9月18日に北朝鮮の平壤で行われ、文大統領は金正恩最高指導者と共に白頭山まで登った。南北間で、最高の平和ムードの時代でもあった。

しかし、2018年4月27日の南北首脳会談後に出された「4・27板門店宣言」の成果の一つである南北共同連絡事務所（2018年9月、韓国が建設費用約180億ウォ



ンを全額負担し竣工）が、21カ月後に金与正の指示により、2020年6月16日、爆破された。

連絡事務所の爆破の理由の一つは、北朝鮮に向けて脱北団体が金正恩体制を非難するビラを気球で散布した、ということであった。

それ以来、北朝鮮は韓国に対して一方的な非難を続けているが、文政権は強力な対策を打ち出せないままているのが現状である。

第31代会長に李相訓氏就任



李相訓 第31代会長

会長就任によせて

この度、在日本関東済州道民協会「第57回定期総会」において第31代会長に就任いたしました李相訓と申します。

まずは、これまで当協会の発展に多大なるご尽力とご協力をしてくださいました諸先輩方に深く感謝申し上げますとともに、「株式会社済京」を設立し、財政基盤を確立してくださいました顧問ならびに相談役の皆様に、改めて御礼申し上げます。

当協会を運営していくにあたり、私の方針を述べさせていただきます。

1つに、会員の親睦をより深めるために、交流の機会を増やしていきます。現在行われている親睦旅行や大きな事業以外に、会員の皆様がもっと気軽に参加できる集いを年に数回行っていきたいと思います。また、これまでと変わらずに済州道主催の行事には積極的に参加し、少しでも故郷の発展に貢献できればと思います。

2つ目は、済州道への協力事業です。1世の諸先輩の皆様がなされてきたこととは違っても、今の済州道に対して何か貢献できることを模索し、情報を整理した上で、少しでも役に立つことができればと思っています。

3つ目は、会員の拡充に力を入れていきます。数は力なりといいますが、少しでも多くの方に当協会へ入会していただけるよう呼びかけ、済州道民協会の輪を広げていきたいと思っています。

そういったなかで、道民会青年部も人数が増え、盛り上がりを見せておりますので、親会としてもさらなる協力をして、青年部との繋がりを大事にしていきたいと思っています。そして、在日済州婦人会の皆様との連携も取りながら、協会の発展に繋がりたいと思います。

新しい執行部となりましたが、会員の皆様が当協会に今まで以上に親しみを持ってください、少しでも多くの方に行事に参加していただけるよう、精一杯頑張っていく所存です。

至らない点も多いと思いますので、顧問、相談役をはじめ、会員の皆様には、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

主 要 行 事

●2018海外に訪れる耽羅（済州）文化祭



済州道最大の郷土文化祝祭である耽羅文化祭が開催57周年を迎え、2018年4月11日7年ぶりに西新井文化ホールで開催された。来賓として済州特別自治道より、全聖泰行政副知事、韓国芸総済州特別自治道連合会 夫在豪会長、済州文化芸術委員会 宋崙奎委員長、日本国内からは、駐日本国大韓民国大使館 李讃範総領事、民団東京地方本部 金秀吉団長、李壽源監察委員長、在日韓国商工会議所 金光一会長、在日韓国婦人会東京本部 河貴明会長、東京韓国商工会議所 張永軾会長、足立区役所 近藤やよい区長、東京日韓親善協会連合会 保坂三蔵会長、アジアナ航空日本地域本部長 呉敬洙氏、その他各関係機関からの出席があった。

開会にあたり夫在豪会長は、長い時間忘れていた済州の文化をたっぷりと感じ、しばらく郷愁に浸る時間になれば幸いで、済州文化の興をいっしょに楽しんでいただきたいと述べた。

プログラムでは、済州方言で語る民話や、フュージョンミュージカル済州物語が上演された。済州女性らの生き方を海女踊りと水瓶踊りをもって表現したり、観客が舞台に上がり喜びの歌に合わせて一緒に楽しく踊る場面もあり、会場が大きな笑いに包まれとても印象的だった。故郷である済州道の歴史や文化を、在日済州人はもちろんのこと、在日同胞や日本の方々にも観覧してもらう良い機会となった。今回の耽羅文化祭だけではなく、これからも多くの方に済州に興味を持っていただき、済州を訪れてもらえるような活動を模索していきたい。

文化祭終了後、当協会 呉賛益顧問の挨拶と乾杯で晩餐会が始まり、全聖泰行政副知事、李相訓会長、来賓の挨拶と乾杯があった。韓国側は出演者含め約70名と、日本側では来賓をはじめ、顧問、相談役、執行部合わせ約30名、総勢約100名で開催され、当日までの労をねぎらいながら懇親を深めた。

1月の新年会の時期より本格的に広報活動を始め、各民団支部や道民会の新年会でチラシを配布し、その他各諸団体やイベント、ネットでも告知した。その効果により総勢800余名の方々の参加があった。

●第31回夏季郷土学校・第5回在日済州人次世代韓国語講座 および歴史・文化体験事業開催

2017年7月31日より8月4日まで「第31回夏季郷土学校」が済州特別自治道人材開発院で開催され、当協会から学生1名が参加した。また、9日までは「第5回在日済州人次世代韓国語講座および歴史・文化体験事業」が済州観光大学で開催され、当協



会からは学生2名と引率役員として9名（高隆博顧問、李相訓会長、高哲明・黄璟浩・宋暎民・梁日勲・韓永紀・金元伸各副会長、洪龍次郎監査）が参加した。

1日目の午後3時、第31代新執行部役員挨拶で済州市を表敬訪問した。一行は引き続き、午後4時半に「第5回在日済州人次世代韓国語講座および歴史・文化体験事業」、午後5時には「第31回夏季郷土学校」の入学式に参席し、在外道民証伝達式と記念撮影を行った。午後6時より済州道主催の夕食会に参加し、済州の要職の方々との懇親を深めた。

一方学生たちは、2日目に済州大学や博物館、在日済州人センターなどの見学や、済州の歴史や文化について学び、3日目に民俗自然博物館、三姓穴、4・3平和公園参拝、城山日出峰などを探訪。4日目は乗馬体験、翰林公園、金陵海水浴場、飛揚島車窓、ヨット体験をし、夜には済州特別自治道人材開発院で歓送晩餐会が開かれた。最終日である5日目には教育感想発表と修了式があり、無事全日程を終えた。

なお、高隆博顧問を除く引率役員8名は、8月1日に西帰浦市庁、済州道庁、道議会、駐(在)済州日本国総領事館（寺澤元一総領事）を表敬訪問し、各機関長と意見交換を行った。

祖先の故郷、済州でルーツを探す時間

（参加学生 高葵里子）

私は2017年7月31日から8月4日まで「夏季郷土学校」に参加しました。済州特別自治道人材開発院に宿泊し、済州大学や4・3平和公園、藍染体験や乗馬体験など心身ともに済州島についてたくさん学ぶことができました。このプログラムを通して強く感じたことが2つあります。

1つ目は済州島についてもっと知りたいと思ったことです。私は大学で韓国語を学んでいますがまだ話せません。しかし現地の大学生がわかりやすく通訳してくれたので済州島のことをたくさん学ぶことができました。しかし、知れば知るほど、韓国語が解かればより知ることができるのという気持ちが強くなりました。

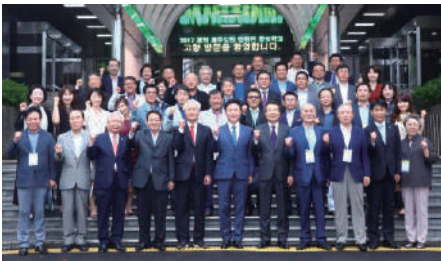
もう1つは済州島出身の先祖をもつ人々と出会い、遠い親戚に会ったような気がしたことです。今回は関東からの参加者は私1人でした。私以外の人は韓国語が話せるので最初はとても不安でした。しかしみんなとても優しい人ばかりで言葉が通じなくても積極的に話しかけてくれたので仲良くなれました。関西を含め日本からの参加者が少なかったため、他の地域の人と交流する機会も多く、4泊5日はあっという間に過ぎ、帰ってきて弟たちに薦めるくらいとても充実した楽しいプログラムでした。

●2017グローバル済州商工人リーダーシップフォーラム開催

2017年9月18日から2泊3日にわたり、済州商工会議所主催で「2017グローバル済州商工人リーダーシップフォーラム」が済州ロッテシティホテルにて開催され、高隆博顧問、李相訓会長、宋暎民・梁日勲・金元伸各副会長が参加した。初日夕方から、開会式・歓迎晩餐会が同ホテルで行われた。2日目は済州商工人ゴルフ大会や済州文化体験事業が自由参加で行われた一方で、ビジネスバイヤー輸出相談会等が行われた。夕方からは、社団法人世界済州人大会組織委員会が行われ、李相訓会長が参加。9月18日に社団法人の設立登記が完了した報告や今後の運営方向についての話し合いが行われた。夜には、第25回済州商工大賞授賞式や、グローバル済州商工人共同宣言式が開催された。共同宣言文の中には、2019年に開催予定の、これまでより多くの分野の済州人を招く「世界済州人大会」の準備に積極的に参加することが盛り込まれた。

この期間に、済州商工会議所 金大亨会長をはじめ、多くの済州商工人の方やさまざまな有力者の方と交流することができた。

●第15回在外道民会役員郷土学校・第56回耽羅文化祭



2017年9月20より2日間、人材開発院にて「第15回在外道民会役員郷土学校」が開催され、当協会から李相訓会長、宋暎民・梁日勲・金元伸副会長が参加した。入校式後、道主催で済州KALホテルにて歓迎晩餐会が開かれ、高隆博顧問、高哲明副会長も合流し6名が参加。他道民会との交流を図った。一行は午後2時入校式の後、道政施策、CFI政策説明を受

け、済州道主催で開かれた耽羅文化祭慶祝晩餐会と済州市塔洞広場にて開催された「第56回耽羅文化祭開幕式」を鑑賞した。耽羅文化祭は、済州唯一の郷土文化祝典であり、済州の民謡、舞踊、ダンスパフォーマンス、ユーモアあふれる創作ミュージカルなどが披露された。会場付近では、毎年大きな花火も数多く打ち上げられ、文化祭を盛り上げている。

翌日、在外済州道民会総联合会臨時総会の後、4・3平和公園、東福風力発電団地等の文化探訪ならびに産業を視察し、全日程を終えた。

●在京道民会役員合同懇親会に参加

2017年11月15日、水道橋YMCA内韓国料理サランチェにて、(社)在日忠清協会主催で「2017年在京道民会役員合同懇親会」が開催された。総勢35名の参加だった。当協会から李相訓会長、高哲明副会長が参加した。他道民会役員たちといろいろな意見交換をしながら交流を深める楽しい時間を過ごした。次年は在日全南道民会が幹事として開催することに決まった。

●伊香保温泉にて親睦旅行会開催



2017年11月19・20日の1泊2日で、群馬県伊香保温泉にある創業400年余りの歴史宿・ホテル木暮にて親睦旅行会が開催され、理事・会員・婦人会役員など25名が参加した。各々チェックインした後は、源泉かけ流しの庭園露天風呂や、上州の山々を望む展望風呂など全26種のお風呂を堪能し、ホテル自慢の浴場で普段の疲れを癒した。そして午後6時に宴会場に集まり、まずは記念写真の撮影を行った。開会にあたり李相訓会長の挨拶があり、会の

現況報告と今後の事業予定が話された。引き続き、鄭平普顧問の乾杯により開宴し、歓談が始まった。高尚弘・李大浩・高隆博各顧問をはじめ、婦人会役員からも挨拶があった。また、新執行部の挨拶や、青年部からも活動案内と自己紹介をしてもらった。その後、各役員協賛による景品の抽選会が行われ、参加者全員に当選品が行きわたった。今回は特別に、呉賛益顧問より高価なカタログギフトが3つ提供され、じゃんけん大会がたいへん盛り上がった。その他、李相訓会長より商品券、韓永紀副会長の店の食事券などの提供もあり、なごやかな雰囲気の中お開きとなった。

2次会では個室を貸し切り、カラオケをしながら和気あいあいと過ごした。美味しい会席料理・酒・抽選会の催しもあり、楽しい時間を共有できた。翌日は、青年部引率のもと1,300有余年の歴史をもつ水澤観音を見学し、日本三大うどんのひとつである水沢うどんを食べ、伊香保温泉石段街を訪れたり、近隣のゴルフ場にて1組がラウンドした。

●2018年家族同伴新年会・成人式開催

2018年1月27日上野精養軒にて、毎年恒例の「家族同伴新年会・成人式」が、来賓を含め500名余りの参加のもと盛大に開催された。

済州特別自治道から、元喜龍道知事、高忠弘議長、李碩文教育監、許香珍済州大学総長夫妻をはじめ、40名の方々が列席された。また国内からは、民団中央本部 呉公太団長夫妻、韓在銀監察委員長、金成日副団長、民団東京本部 金秀吉団長をはじめ、各関連団体長ならびに多くの方が参席された。

式典では、李相訓会長の新年の挨拶に始まり、元喜龍道知事、呉公太民団中央本部団長ならびに各関連団体の来賓の方より祝辞を賜った。そして、済州特別自治道知事より、夫奉秋常任顧問、在日済州婦人会 金夏子常任顧問に感謝牌が贈られた。また、在日済州婦人会と済州道各機関との間でプレゼントの交換が行われた。

成人式では、新成人として7名（秦鈴夢・鄭亜未・李希瑛・玄宗秀・金洧辰・高可奈・金秀哉）が参加し、李相訓会長からの祝辞とともに、当協会および済州道各機関より数多くの記念品が贈呈された。新成人を代表して鄭亜未さんが答辞を述べた。2部の懇親会は、夫奉秋常任顧問からの乾杯で始まり、MIYAさんのステージも披露さ

れ、会場全体が盛り上がった。歓談後に行われた恒例ビンゴ大会と抽選会では、ラマダプラザ済州ホテル様よりホテル宿泊券が、大韓航空様・エアプサン様より済州・釜山行きの往復航空券など、数多くの豪華景品が提供された。当選結果に大人から子どもまで一喜一憂している姿は大変微笑ましいものだった。

●2017・2018年度在外済州特別自治道民会総联合会 臨時総会

2017年9月21日に、「2017年在外済州道民会総联合会 臨時総会」が人材開発院にて開催され、当協会より李相訓会長が出席し、宋暎民副会長が傍聴した。参加者紹介の後、金昌禧会長の挨拶があり、経過報告の後、会議では、役員選任、運営規定の制定等が話し合われたが、意見がぶつかることもなく円満に終了した。

また、「2018年在外済州道民会総联合会の臨時総会」が、2018年4月14日済州道庁会議室にて開かれ、総勢30名が参加した。当協会からは李相訓会長が出席した。参加者紹介の後、金昌禧会長の挨拶があり、経過報告の後、広域市道会長ならびに京畿地域代表を委員にした会則改正小委員会を構成することが可決された。また、2018年1月に総联合会顧問である当協会 呉賛益顧問が発展基金として500万ウォンを寄託した。

●「わがまが叶う」日帰りバス旅行



2018年5月20日第5回家族同伴日帰り旅行会が開催され、各会員、婦人会員、青年部員、その家族など、46名が参加。毎年恒例となった今回は「わがまが叶う日帰りバス旅行」と題して、盛りだくさんのツアーを楽しんだ。

最初に訪れたのは川場田園プラザ。広大な敷地の中でも特に人気だったのは、地元の新鮮野菜・果物が買えるファーマーズマーケット。思い思いに買い物を楽しみ、中には野菜の箱買いをしている会員もいた。続いて酒蔵誉国

光工場見学へ。こちらでは酒造りの設備を見学したり、日本百名山・武尊山の伏流水や蔵元自慢の酒を試飲したりと、お気に入りの1杯を味わった。そして昼食は本ズワイガニの食べ放題！ワイワイガヤガヤの道民会がいきなり無口！大人も子どもも必死に殻を剥きながら夢中になって食べた。食後のデザートはいちご狩り。お腹いっぱいでも甘いものは別腹。自由にいちごを摘みながら堪能した。最後に一行が向かったのは、富岡にあるこんにゃくパーク。なんとここでも食べ放題！こんにゃくラーメンに、レバ刺し風こんにゃく、こんにゃくデザートに至るまで、珍しいこんにゃく料理にチャレンジした。

東京への帰路では恒例のビンゴ大会と到着時間当てクイズを開催。豪華賞品を賭けて、大いに盛り上がった。今年も天候に恵まれ、思い出もお腹もいっぱいの「わがまが叶う」日帰りバス旅行となった。

組 織

●第58期役員

顧問：高瑋鉉 高章守 夫昇培 金和男 李淳元 李徳雄 金英秀
呉賛益 鄭平普 高尚弘 李大浩 高隆博

常任顧問：夫奉秋

相談役：梁直基 呉益鐘 黄昌柱 李 権 韓在銀 高富仁 金秀吉 呉敬進
金修一 康大熙 金光一 慎龍九 金用實 金昌世 金成日
朴時男 呉仁敦 姜丞宝 宋信彦

会 長：李相訓

副 会 長：高哲明 黄璟浩 宋暎民 副会長 兼 総務部長：梁日勲

副会長 兼 宣伝部長：韓永紀 副会長 兼 組織部長：金元伸

財務部長：鄭禎憲 事業部長：金哲祥 国際部長：李京旻

渉外部長：金聖宗 総務次長：金帝憲

事業次長：洪正敏 渉外次長：梁広実

青年部長：金兎盛 監査：洪龍次郎 金建夫

●協会ニュース発行

第47号（2017年8月18日）

第48号（2018年2月28日）

●協会ホームページをリニューアル

（2017年12月4日）



第47号

第48号

定 期 総 会

●第58回定期総会開催



2018年6月23日上野ホテルパークサイドにおいて「第58回定期総会」が開催され、理事・会員、婦人会役員、青年部部員諸氏、報道機関含め総勢55名の出席のもと、第58期の年間行事報告・決算報告等、滞りなく進行し無事に終了した。

李相訓会長より第59期の抱負として、理事・会員・ご家族との親睦を年間行事の1つである新年会だけでなく、拡大理事会の開催や食事会の回数を増やし皆様

といっしょに済州道民協会を盛り上げたい旨の提案があった。

懇親会は、呉賛益顧問が福島県いわき市に長年にわたり寄付活動をした功績が称えられ、日本国より「紺綬褒章」が授与されたお祝いを兼ねて開催された。各顧問からは、名誉ある「紺綬褒章」受章に対し慶びの言葉がかけられた。最後に記念写真撮影をし、笑顔のもと懇親会が終了した。

●(株)済京第16期定時株主総会開催

(株)済京の「第16回定時株主総会」が2018年5月26日文京区湯島の本社会議室にて開催され、この議決権の総数（発行済株式数800株、株主総数31名）のうち定足数たる株主の出席があり総会は適法に成立すると成立宣言の後、呉賛益代表取締役が議長となり高尚弘道民協会顧問の進行のもと開会された。

議案審議のなかで第16期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）決算の事業報告および計算書類承認について概況説明があり、満場一致で承認された。

●青年部 青年部長 金児盛

〈活動報告〉

2017年6月2日 総会15名

7月30日 初めて慶尚南道・慶尚北道・済州道青年部合同のBBQを開催。総勢81名、済州青年部からは成人25名・子ども5名の参加

9月の定例会（17名）

10月27～29日 念願の済州島旅行が実現した。12名で2泊3日間、済州の過去と現在をテーマに有意義な時間を過ごすことができた。今後は定例行事として年1回は実施したい。

11月30日 忘年会（28名）

2018年1月27日 協会新年会後に懇親会（26名）

4月11日 海外に訪れる耽羅文化祭に9名が参加し、文化祭のお手伝いをしながら故郷済州を感じることができた。

5月20日 協会日帰りバス旅行に4名が参加し、ふだんはあまり交流することのない当協会の諸先輩方ともふれあう良い機会となった。

〈現在の青年部について〉

対象年齢：18～45歳

会員数：46名（名簿上）

LINEグループは63名と昨年より20名以上増えた。現在も追加中であり、引き続き名簿作成を行い、今後に繋げていきたい。



この1年を振り返ってみると、済州青年部が幹事として行った3団体合同バーベキューの参加者が80名を超え大成功し、今後も継続して行きたいと感じた。そして念願であった済州旅行も無事に行い、会員同士の絆を深め、自分のルーツについて考える良い機会となった。さらに多くの青年部員が参加できるようにサポートしていきたい。

今後は関東以外の済州青年部との交流も深める機会を作っていきたいと考えている。

●済友会ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第145回	2017年6月13日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	鄭己順
第146回	2017年9月26日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	金東槿
第147回	2017年12月11日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	鄭成男
第148回	2018年3月19日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	玄忠吉

在日済州婦人会

●東京湾ランチクルーズ

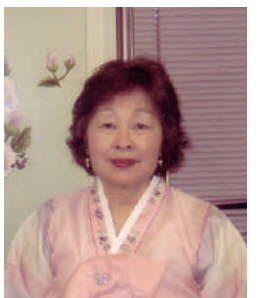
2017年11月12日、素晴らしい天気の中、東京湾ランチクルーズを計画。17名が参加した。済州婦人会貸し切りの個室で、フレンチのフルコースをいただいた。ビールや越乃寒梅、ワインなどお料理に合わせて楽しくいただいた。青い海と空、プライベートデッキ、どれをとっても非日常の優雅な時間を共有できた。

●第21回定期総会・送年会

2017年12月2日ホテルパークサイドにおいて第21回定期総会および送年会を開催し、41名が参加した。総会では会議の後、金夏子会長から金貞子新会長にバトンタッチされ、花束を贈呈した。金夏子前会長からは4年間の思い出と皆様のご協力への感謝の挨拶があり、金貞子新会長からはより一層のご協力と親睦を深めていきたいとの挨拶があった。在日本関東済州道民協会からも李相訓会長はじめ役員が参席した。

●第11代会長に金貞子氏就任

第21回定期総会において在日済州婦人会会長職を承りました。思い起こせば済州道をこよなく愛した初代会長 故韓道淑顧問、呉春花顧問、左玉花顧問、金夏子顧問たちが、親睦団体ではありますが熱い心を持ち全身全霊で当婦人会を守り育ててきました。済州道人としての誇り、他に類を見ない結束力も先輩たちの賜物としてこれからも引き継いでまいります。今後私は在日本関東済州道民協会の役員の皆様と交流を深めて、諸般事業にも参加、協力して



いく所存です。そして在日済州婦人会の定期総会を50回100回と繋いでいくため、次世代育成も心掛けながら、婦人会の和合と発展に努めてまいりますので、お力を貸してくださいませよう切にお願い申し上げます。

●第11代役員

常任顧問：呉春花 左玉花 金夏子 顧問：朴潤閔
相談役：康仁順 金孝淑
会長：金貞子 副会長：趙年子 金久美子
総務部長：李仁秀 総務次長：洪安子
財務部長：玄英子 財務次長：金善子
文化部長：高貞子 監査：韓連淑 金泰子

●3泊4日済州道旅行

2018年1月、家族同伴新年会に済州道から元喜龍道知事が参席され、お祝いの挨拶のなかで「今年は4・3事件から70周年という意義深い年であり、済州道訪問の年」と述べられた。金貞子会長からの「済州道訪問しましょう！」の声掛けで婦人会顧問、相談役、役員が集まり、今年の旅行は済州道と役員全員一致で決定した。

日程は2018年4月16～19日で、29名の参加があり、初日は済州道庁を表敬訪問した。選挙中の分刻みの忙しい中であるにもかかわらず、元喜龍道知事をはじめ、道庁の職員の方々が私たち済州婦人会を温かく迎えてくださった。みかんジュースをご馳走になりながら、道知事と談笑し、婦人会から記念品を贈呈、写真撮影など楽しい時間を過ごすことができた。道知事にエールを送り、これからも済州道のさらなる発展をお願いした。

2日目には4・3平和公園財団を訪問。在日済州婦人会として済州4・3平和公園財団に、1,000万ウォンの寄付と訪問記念として椿を植樹した。済州道では、4・3事件において、夢半ば人生半ばで無念にも冷たい土へ声もなく倒れていった人々が椿の花にたとえられ、事件を象徴する花とされていると聞き椿を選んだ。資料館に入り、庭に出る玄関の真正面に「在日済州婦人会」の名札とともに植樹され、これからも大きく育ち赤い椿の花が咲き続けることを願う。このような寄付と訪問記念植樹をした在外済州人は、当婦人会が初めてだと称賛された。

旅程がちょうど五日市と重なっていたこともあり、存分に買い物を楽しむ会員や、自由時間を利用して墓参りに向かう会員も。海辺を散策し、海を眺めながらのコーヒータイムはゆったりとロマンチックな時間が流れた。4日間とも顧問、会長たちが、毎食の食事を提供された。貴重な経験と楽しい美味しい旅行を満喫することができた。



会員ニュース

●李時香顧問を偲ぶ

当協会顧問 李時香氏（民団中央本部常任顧問、民団東京地方本部常任顧問）が2017年9月7日都内の病院で逝去された。享年79歳。通夜は9月14日、告別式は15日、いずれも東京都荒川区の町屋斎場でしめやかに行われた。喪主は長男の李相訓氏（当協会第31代会長）。遺族は妻と1男1女。式は金秀吉民団東京地方本部団長が葬儀委員長として執り行った。



通夜、告別式には民団中央本部の常任顧問、顧問および3機関長をはじめとする幹部役員、各機関の幹部役員、日本の各界人士ら合わせて500余名が参列。済州道でも10月13日ラマダプラザ済州ホテルで偲ぶ会が行われ、遺族、親戚はじめ当協会からは金秀吉相談役夫妻、李大浩・高隆博顧問が、加えて済州大学 許香珍総長、済州道 全聖泰行政副知事、済州国際自由都市開発センター 金漢昱前理事長、済州商工会議所 金大亨会長、故人の母校である済州中央高校関係者など160余名が参列した。

李時香氏は1937年済州市翰京面頭毛里で生まれ、済州中央高校（旧済州商業高校）在学中に渡日。強い意志と勤勉さで複雑多難な異郷の地で実業家の道を邁進し、ホテル業をはじめとする「サン・ロイヤルグループ」の創始者として立派に成功し後継者にも恵まれた。当協会では1985年財務部長、副会長を経て1991年第18代会長を歴任。在任中、「それまで故郷の経済発展と道民の生活水準も向上したことから、協会の事業を在日済州人であるわれわれの子孫のことを考え展開するため」と協会名称を「在日本済州開発協会」から時代に相応しい「在日本済州道民協会」へ改称し協会発展に尽力した。また、協会財政基盤確立のため株式会社済京が設立され、収益物件であるK・S・Kビル購入の際にもその趣旨にいち早く賛同、協会役員一同に勇気と自信を与えた。

在日同胞社会でも、卓越した指導力と温厚で誠実な人柄が認められ、1994年在日韓国民団荒川支部支団長をはじめ、1998年民団東京地方本部副団長、議長を経て2004年より第33・34代団長を歴任した。在任中、済州道にて本国研修会開催、民団東京本部の財政安定のため第二東京ビル購入を推進し、大阪にビル1棟を購入するなど東京本部の発展にも大きく寄与した。また、在日韓国人の地方参政権獲得運動、無年金高齢者の支援活動なども行った。2010年より、後輩の地域社会と国家発展に寄与する人材育成を願い、国立済州大学に発展基金として20億ウォン以上を寄付し、「李時香奨学基金」と開校60周年記念事業である「人材養成館」の建設に使用され、2018年2月8日に開館式と李顧問の胸像の除幕式が行われた。

永年の功績が認められ済州大学経営学名誉博士学位を授与され、韓国政府からは国民勳章牡丹章をはじめ、体育勳章・巨象章、文教部長官感謝状、済州特別自治道文化賞、済州商工大賞、日本赤十字社金色有功章などを受賞している。

●李大浩顧問 2017年度済州特別自治道文化賞受賞



2017年度済州特別自治道文化賞授賞式が2017年12月20日午前10時より、済州市ソルムンデ女性文化センターにて開催され、国外在外道民部門において当協会の李大浩顧問が受賞した。1962年から始まったこの賞は、済州文化芸術の振興と地域社会発展に尽くした功績が顕著な個人または団体に済州特別自治道民の名で表彰するもので、社会の変化に合わせ受

賞部門も拡大・細分化され、2000年からは在外同胞にもその対象が広がった。

李大浩顧問は、執行部では12年間にわたり活動し、協会の発展のために大きく貢献。第28代会長としては、2011年に「海外に訪れる耽羅文化祭」を東京の西新井文化ホールで開催し、900名にのぼる観客の動員を成功させ、済州道の文化を多くの在日や日本の方に知らせた。当協会 呉賛益顧問が日本地域推進委員長として活動し、済州が「世界7大自然景観」に選定された際にも、各地域で献身的に広報に努めた。また、済州出身の在日の方が多い民団足立支部では、団長として3年間、在日のため、地域社会のためにも多大な尽力をした。このように、在日済州人社会や故郷のために深い愛郷心を持って積極的に活動してきたことが今回の受賞に至った。式場には、李大浩顧問の夫人はじめ多くの親戚、友人の方々が駆けつけ、当協会 李相訓会長も参席した。受賞者の中では、李大浩顧問がいちばん多く花束を受け取っていた。式後、ラマダプラザ済州ホテルにおいて受賞祝賀会が開催され、多くの方々といっしょにお祝いすることができた。

●呉賛益顧問 紺綬褒章受章に輝く

当協会 呉賛益顧問が紺綬褒章を受章し、2018年6月23日「第58回定期総会」終了後、祝賀会が開催された。

紺綬褒章は、公益のため私財を寄付したことに対しての褒章であり、私利私欲の無い善意の精神をもっていわき市の災害からの復興と、その後の再建に貢献したことから、内閣の助言と承認に基づいて日本国天皇陛下から授与された。

式では、呉顧問とご家族に、協会、婦人会、青年部から花束が贈呈された。

呉顧問は、「これまで在日2世として10代の多感な時期もあり、人並みに色々悩んだこともありましたが、大韓民国人として歩んできた自分の人生は満足できるものであり間違っていなかったと思っています。先に行われた(株)済京の総会で報告されました通り、金融機関への返済も順調に進み、この16年間にわたる営業努力により



成果を挙げ、優良法人として評価されております。それを踏まえて来年の取締役改選の場で社長職を辞任いたします。人材豊富な道民協会です。よりすぐれた社長が誕生することを心から願っております。婦人会の皆さまには多大なるご協力を賜り、これからも永遠に協会の礎をささえながらともに歩んでもらいたいと思います。私はルーツを済州道とする在日2世としての誇りを持ち「愛郷無限」の精神で故郷の発展と自身の事業のゆるぎなき成長をめざし生きてまいりました。これからも四面を水平線で囲まれたチェジュドに誇りを持ちこよなく愛する、チェジュサラム（済州人）として歩んでまいります」と挨拶した。

乾杯の音頭を取った高瑋鉉顧問は、「呉顧問が日本国より長い間地域社会に貢献されたことが認められ立派な章を受章されたことはわれわれ在日にとってもたいへん名誉であり、特に当道民協会においてはほんとうに限りなく喜ばしい、たいへんな栄誉に与かりました」と話した。懇親会に移り、民団東京本部 金秀吉団長、在日韓国商工会議所 金光一名誉会長の挨拶に続き、婦人会 左玉花常任顧問は「今日は呉賛益顧問に素晴らしく感動し胸がジーンと来ちゃって涙が出ました。ほんとうに呉顧問も波瀾万丈な人生を送ったと思います。私も含め在日1世2世はほんとうに大変苦労された方が多いと思います。素晴らしい章をもらったということは、大韓民国の自慢！在日同胞の自慢！済州人としてはより自慢であります。私たちがここにいられるのは呉顧問が会長になって、協会や事務局を立派にしてくれて、婦人会を助けてくれ、(株)済京も含めすべてを誇りにしてくれたからです。私たちは、すごく感謝しています。生き方がすばらしい方で、すばらしい人生を歩んでいるなど年下でも尊敬します。直接には言えないけど、サランハンニダ、サランヘヨ！」と挨拶し、会場はなごやかな雰囲気になった。

その他、顧問・相談役、役員等から「呉顧問のおかげで済州をルーツに持つことが自慢であります」「今の道民協会は呉賛益顧問がいなかったら違う形であったと思います」「大韓民国からの勲章でなく日本国から受章されることは、協会にとっても至極光栄です」等と祝福の言葉が贈られ、祝福ムードが漂う華やかなで心温かい会となった。

同氏は、当協会第24代会長に就任し、協会の永年の念願だった財政基盤の確立を図るための収益物件（通称K・S・Kビル）と事務所（湯島三組坂ビル2階・80坪）を購入。東京韓国商工会議所第10代会長就任後も、収益会社(株)峠を設立し、ビルを購入。その収益を会の財政に充てた。また、在外同胞で初めて在外済州特別自治道民会総聯合会会長に就任し、同会の発展基金の強化に尽力するなど、所属機関リーダーとして財政基盤の確立を図った。故郷の発展と在日同胞の地位向上とその企業発展のため、非常に献身的に励んで来た功績が評価され、福島県いわき市より功労賞、本国より外交通商長官賞、駐日本国大韓民国大使より功労賞、済州特別自治道文化賞、済州商工大賞など各機関・団体から多くの感謝状を受賞した。韓・日親善の架け橋として、日本のため、韓国・済州道のため第一線で力になろうと日々がんばる姿に、韓国人・日本人問わず慕う人が多い。



人物交流

●2017年

- ・7月21日 第31代新執行部就任表敬訪問が駐日本大韓民国領事館、婦人会中央本部→婦人会東京本部→民団中央本部→民団東京本部→(一社)在日韓国商工会議所の順で行われた。(李相訓会長、高哲明・宋暎民・梁日勲・韓永紀各副会長、金建夫監査、金聖宗渉外部長7名参加)
- ・9月22日 済州経済通商振興院 東京通商代表部 開所式が開かれ、金帝憲総務次長が参加。
- ・10月10日 「第4回定例常任役員会」後の午後7時半より和食極にて「理事・会員の集い」が開催され理事3名、会員3名、李相訓会長はじめ執行部役員11名総勢17名が参加。
- ・11月21日 民団中央本部元団長 故鄭進先生追悼式が民団会館MINDANホールにて挙行され、李相訓会長が参列。
- ・12月4日 上野ホテルパークサイドにて、顧問・相談役を招いて「懇親忘年会」が開かれた。顧問は高瑋鉉顧問をはじめ7名、相談役は金秀吉相談役をはじめ6名が参加した。執行部は李相訓会長をはじめ16名が参加し、総勢29名となった。新執行部になって約半年、2017年の協会運営の報告や今後の協会運営について、貴重な意見が聞かれた。

●2018年

- ・1月26日 「済州4・3事件犠牲者並び遺族追加申告受付広報」のため、済州4・3事件真相糾明および犠牲者名誉回復委員会 副委員長 洪性洙、企画所委員長 金・サンチョル、済州4・3犠牲者

告別式が営まれた。(享年79歳)

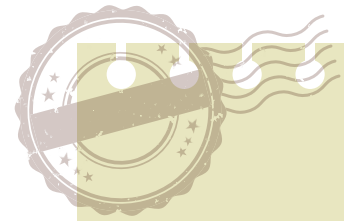
■**安次男会員**のご尊父 安俊夫 元会員が病氣療養中のところ11月23日永眠され、葬儀は家族葬で営まれた。(享年72歳)

■**康英雄会員**のご母堂 金敬姫女史が12月5日永眠され、葬儀が営まれた。(享年91歳)

■**元会員 金玟哲氏**が病氣療養中のところ、4月に永眠された。(享年83歳)

遺族会 常任副会長 呉・イムジョン、事務処長 梁聖周、道庁特別自治行政局4・3支援課 担当 姜・ミンチョル、金勇徹学芸研究士が来訪され、李相訓会長、李始禹事務部長と話し合い。

- ・1月27日 ソウルから在外済州道民会総聯合会 全昌禧会長一行7名を羽田空港から、金聖宗渉外部長がホテルパークサイドまで案内、済州大学6名が合流し、会場まで案内。
- ・1月28日 済州大学 許香珍総長一行17名を李相訓会長、金帝憲総務次長が東京駅まで歓送。
- ・2月6日 済州平和研究院 徐正河院長、梁榮植チーム長、多摩大学 趙・ウジン教授が来訪し、李相訓会長、李始禹事務部長と「第13回済州フォーラム」について話し、一行は今半で昼食。
- ・2月22日 品川プリンスホテルにて民団中央本部「第54期民団中央新三機関長就任祝賀会」が開催され、李相訓会長が参席。
- ・2月27日 韓国芸総済州道連合会 会長 夫在豪他6名が来訪し、李相訓会長、高哲明副会長、金帝憲総務次長、李始禹事務部長と「2018海外に訪れる耽羅文化祭」開催準備につき、話し、その後、洪龍次郎監査も合流し、会場となる西新井文化ホールの下見をし、昼食会を設けた。
- ・3月5日 「第9回定例常任役員会」終了後、午後7時より和食バルさしすそにて「第2回理事・会員の集い」が開催され、鄭平普顧問はじめ理事6名、会員3名、李相訓会長はじめ執行部11名、在日済州婦人会から左玉花常任顧問はじめ役員9名の総勢30名が参加。

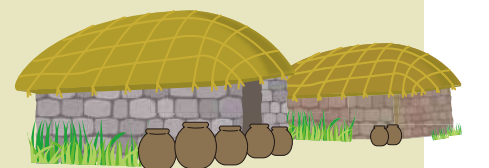


済州道通信

●第52回済州特別自治道民体育大会

2018年4月13日より3日間の日程で済州市済州綜合競技場を中心に「第52回済州特別自治道民体育大会」が開催され、当協会からは李相訓会長が参加した。式に先立ち済州綜合競技場補助体育館にて在外済州道民自体競技が行われた後、夕食後、午後8時より済州綜合競技場において史上初めて夜間に開会式が行われ注目された。

「走りながら健康体育大会、笑いながら和合済州」をスローガンに掲げた同大会は、昨年より選手団の規模が900名近く減り、51種目745チーム、選手と役員合わせ15,197名が参加した。元喜龍知事は開会辞で「半世紀以上、道民たちが発散してきた配慮と尊重、和合の精神は4・3の痛みを和解と共生に昇華させながら、平和の新しい歴史を刻む原動力となった。今年の道民体育大会は120万済州道民がともに挑戦し成就の楽しさ、共生と和合の喜び、治癒と平和の祭りになることを期待する」と期待を寄せた。



BTSの国連演説



東洋の静かに聞かせる音楽の「静」と、西洋のダイナミックに動くダンスの「動」を見事に融合させたBTSのパフォーマンスは、世界から絶賛を浴びている。音楽を聞かせるだけではなく、見せる総合芸術のジャンルにまで昇華させたBTS（防弾少年団）は、今は韓国を代表するという

より世界を代表するアーティストとして世界を飛び回っている。決してBTSに対する美辞麗句の評価ではない。2018年9月24日、ニューヨークの国連本部でその評価は立証された。世界の若い世代を代表するアーティストとして公式的に招待されて演説をした。

2030年までにすべての若者が質の高い教育、技能研修、雇用を得られることを目指す、世界的パートナーシップ「無限の可能性を秘めた世代」が発足したハイレベル・イベントでの格調高い演説の内容はもうひとつの感動を与えた。

「本当の愛は自分自身を愛することから始まる。昨日、僕はミスをしたかもしれません。でも、過去の僕は僕には変わりありません。今の僕は、過去のすべての失敗やミスとともにあります。明日の僕が少しだけ賢くなったとしても、それも僕自身なのです。失敗やミスは僕自身であり、人生という星座を形づくるもっとも輝く星たちなのです。だから今度は自分自身のことを話そう。あなたの名前は何か？何にワクワクして、何に心が高鳴るのか、あなたのストーリーを聞かせてください」と演説の中で語りかけた。

その後、2019年国連舞台のイベントに映像で参席した後、2年が過ぎた2021年9月20日、3回目の国連本部での演説でもその姿勢は変わらなかった。「若者に向けられるSDG：持続可能な発展目標」のモーメントに出席して7人のメンバーは、自らの思いを訴えた。

「（コロナで）この2年は実は私も当惑して途方に暮れる時期もありました。私は昨日と同じなのに、世界は一瞬にしてパラレルワールド（異世界）になったかのように変わってしまいました」「私たちの未来は恐ろしい暗闇だと思わないでください。私たちの物語にはまだ多くのページが残っています。そのエンディングがすでに決まっているかのように語るべきではないと思っています」「今の10代、20代の人たちが『コロナロストジェネレーション（失われた世代）』と呼ばれていると聞いたことがあります。『ロストジェネレーション』ではなく『ウェルカムジェネレーション（前に歩いていく世代）』という名前の方がふさわしいと思います。なぜなら、この世代は変化を恐れるのではなく『ようこそ』と言いながら前に進んで行っているからです」

約7分間の演説と歌の映像は国連の公式ユーチューブの生放送で中継されて、約98万人が視聴したという。韓国語の代名詞である「K-POP」を世界の共通語として市民権を獲得させたBTSの功績は計り知れない。BTSは2013年6月にデビューし、2017年2月から7月までワールドツアーを開始。北米、南米、アジアの10カ国と地域で計17都市を周った。2018年「LOVE YOURSELF 轉 'Tear」」を発表。アジア圏出身者として初めてビルボード200で1位を獲得した。

その後、世界の権威ある音楽賞を数多く受賞。2021年と2022年には、アジア歌手として初めて

グラミー賞にノミネートされた。BTSはグループの名前も異色的であった。「防弾少年団：パンタンソニョンドンの略語」の名前の意味は、「若者に向けられる偏見や抑圧という弾丸を防ぎ、自分たちの考え、音楽を守り抜く」という意味が込められているという。

今、BTSのメンバーは「少年団」から「青年団」になって、24歳から29歳であるが、韓国で兵役義務を済ませていない。スポーツ選手の場合は規定が決まっていて、その寄与度によって兵役義務が免除されている。しかし、他の分野ではその規定がないので、BTSの兵役の問題が今、韓国国内だけではなく世界から注目されている。

主 要 行 事

●食べて・食べて・食べて、新発見済州—親睦旅行会



2018年11月5日から8日まで3泊4日の日程で「済州道親睦旅行会」が開催され、理事・会員・婦人会から32名が参加した。

初日5日は、昼食（肉ククス・トンベ肉）で始まり、午後7時より「一徒鮑屋」にて当協会主催の食事会が開かれた。招待客として済州道庁文化体育对外協力 趙相範局長、平和对外協力課在外道民係 金時允係長、担当 高榮辰氏、在外済州道民会総聯合会 姜渭均事務総長、済州大学 李昌益教授、在日済州人センター 任和淳センター長他2名など総勢40名が参加した。

2日目は朝食の後、下幕のウンジン港から加波島へ渡った。これで道民会親睦旅行として、牛島・馬羅島・加波島の3島を踏破した。その後、モスルッポにて海鮮鍋の昼食。大きな鍋にアワビ・タコ・いか・平貝・ロブスターなどが山盛りになった豪華なトッベギ。おなかいっぱいになった後は中文近くにある葉泉寺の見学。東洋最大規模を誇る法堂を見学した。続いて、みかん狩りと伝統菓子作り。開発協会時代に送ったみかんの苗が現在の済州農業の主要産物になっていることを目と手と舌で実感できた。夕食は黒豚をいただいた。

3日目、あわびのお粥の朝食後、城山浦港に向かった。ここでは潜水艦に乗船。海の中ではダイバーが魚を集めてくれた。昼食は地鳥のコース料理だった。その後、サムグムブリ、スカイウォーターサーカスへ。各国の元オリンピック選手たちによる10m以上の高さからのアクロバティックな飛び込みは、目が離せなかった。夕食に太刀魚をいただいた後は、済州ハーブ園でのイルミネーションと足湯。大変ハードな1日だったが、広大なハーブ園がイルミネーションに飾られ心が温かくなり、バラの花のアロマの足湯が冷えた体を温めてくれ、20分間の足湯とマッサージですべすべの足に。

食べて、食べて、食べて、見たことのなかった済州を体験できて、本当に幸せな3泊4日となった。

●第32回夏季郷土学校

2018年7月30日より8月3日まで「第32回夏季郷土学校」が済州特別自治道人材開

発院で開催され総勢32名が参加した中、当協会からは学生5名が参加した。引率役員として参加した李相訓会長、韓永紀・梁日勲両副会長、洪龍次郎監査4名は、午後4時、道庁を訪れ再選された元喜龍道知事と面談をし、今後の済州道の発展に関して意見交換を行った。午後5時から人材開発院での入校式に参席し、在外道民証伝達式の後、記念撮影を行い、役員たちは済州道主催の夕食会に、学生たちは夕食後、祝賀公演ならびに親交の時間を持った。

7月31日に学生たちは、済州大学、博物館、在日済州人センター、4・3平和公園等を見学した。同日、参加役員は済州特別道議会を訪問し、金太石議長と談話後、午後6時より、市内のレストランにおいて、関西済州道民協会の朴泰男会長はじめ役員11名の方々との食事会を開催し、親睦を深め今後の会の在り方について意見交換を行った。学生たちは、石文化公園、城邑民俗村、海女博物館観覧、城山日出峰・牛島遊覧船に乗船、水月峰地質トレイル、ドルビッナ芸術学校にてパッチム体験、藍染め・オメガ餅作り・乗馬体験など、多彩な済州伝統文化に触れ体験を通し故郷済州道を精いっぱい楽しんだ。韓国をはじめ日本、アメリカ等12地域からの済州出身の学生たちと大切な時間を過ごした。

祖先の故郷、済州でルーツを探す時間

(参加学生 金賢汰)

済州島を訪問し、短い時間ではありましたがたくさんの出来事がありました。済州島の歴史的文化である海女さんの博物館見学や戦争で亡くなられた先代の方々の名前が刻まれている石碑がある4・3平和公園など、観光地としても有名である場所へたくさん足を運び、色々なことを学ぶことができました。今回の旅を共にしたことによって、済州島をルーツにもつ同世代の友人ができ、とても充実した生活でした。



●第16回在外道民会役員郷土学校・第57回耽羅文化祭

2018年10月10日より2日間、人材開発院において「第16回在外道民会役員郷土学校」が開催され、当協会から李相訓会長、高哲明・梁日勲両副会長が参加した。

一行は入校式後、道主催で済州KALホテルにて開かれた歓迎晩餐会に参加し、引き続き済州耽羅文化広場周辺で開催された「第57回耽羅文化祭開幕式」を観覧した。済州の郷土文化を表現する多様な舞踊や民謡、各種公演が行われたが、なかでもクレーン車を使つての地上高くから女性パフォーマーが登場するシーンはとても華やかで圧倒された。観覧後は、夏季郷土学校のときと同様に、関西済州道民協会の役員たちと懇親の時を持った。本年度2回目とあっていろいろと打ち解けて話をする事ができた。今後も済州道において行事があるときには、親睦を深めていきたい。

●在京道民会役員懇親会に参加

2018年11月20日、神楽坂中華料理水漫庭にて、「2018年在京道民会役員合同懇親会」が、在日全南道民会主催で開催され、総勢29名が参加した。当協会から李相訓会長、高哲明・宋暎民・韓永紀各副会長、洪龍次郎監査が参加した。他道民会役員たちと色々な意見交換をしながら、交流を深める楽しい時間を過ごした。2019年は当道民協会が幹事として開催することに決まった。

●2019年家族同伴新年会・成人式開催



2019年1月26日、上野精養軒において「家族同伴新年会・成人式」が開催され、理事・会員と家族、来賓含め500余名の参加のもと、盛大に開催された。

済州特別自治道から、元喜龍道知事、金太石議長、李碩文教育監、宋錫彦済州大学総長をはじめ、64名の方が列席され、また国内からは、民団東京本部 金秀吉団長、

李壽源監察委員長をはじめ、各関連団体長ならびに59名の方が参席された。

式典では、李相訓会長の新年挨拶に始まり、元喜龍道知事、民団東京本部 金秀吉団長、ならびに各関連団体の来賓の方より祝辞を賜った。また、在日済州婦人会と済州道各機関との間でプレゼントの交換が行われた。

成人式には、新成人として6名（鄭世洋・秦健誠・金龍泰・黄莉奈・金賢汰・高淑瑛）が参加し、李相訓会長からの祝辞とともに、当協会および済州道各機関より数多くの記念品の贈呈があった。新成人を代表して高淑瑛さんが答辞を述べた。両親への感謝の気持ちを忘れず、また、ルーツは済州道であることを忘れずに今後の活躍・発展を心より祈りたい。2部の懇親会は、夫奉秋常任顧問からの乾杯で始まり、余興に「Why not 3」が出演。懐かしのヒットソングを披露。会場の参加者たちもステップを踏み、手を振りながら盛り上がった。また、毎年恒例のビンゴゲーム・抽選会では歓声・溜息とありながらワクワクしながら楽しんだ。

●2019年度在外済州道民会総聯合会 定期総会



2018年10月11日、「2019年度在外済州道民会総聯合会 臨時総会」が人材開発院にて開催され、当協会より李相訓会長が出席し、高哲明・梁日勲副会長が傍聴した。参加者紹介の後、金昌禧会長の挨拶があり、経過報告後、総聯合会が済州道より公式団体として認められるよう提案が出され、今後も協議していきながら進めていくことが討議された。

2019年4月20日には「2019年度在外済州道民会総聯合会 定期総会」が、午後2時

より済州道庁第2庁舎会議室にて開かれ総勢24名が参加した。当協会からは李相訓会長が出席、宋暎民副会長が傍聴した。金昌禧会長の挨拶があり、経過報告および監査報告の後、会議が開かれ、2018年度の会計決算および2019年度予算案が上程され、審議の結果いずれも承認された。

●初在日済州人青少年交流キャンプ開催

済州大学在日済州人センター主催で中学・高校生を対象に「初在日済州人青少年交流キャンプ」が2019年3月27日より4日間にわたり開催され、当協会から4名が参加した。この事業は、済州について関心が薄い
在日済州人3・4世の青少年を対象に故郷の文化と歴史を体験できる機会を提供し、故郷への理解とアイデンティティーを高めるほか、済州道在住の学生との交流を通じ故郷への繋がりを築くため、初の試みで開催された。参加学生から下記のような感想文が寄せられた。



感想文

(参加学生 韓承唯)

僕は今回「2019在日済州人青少年交流キャンプ」に3泊4日で参加しました。初日は知らない人だらけで過ごしにくいと思っていたのですが、自己紹介を兼ねて話してみるととても話しやすく、すぐに仲良くなれました。その後には、済州大学の紹介を受けキャンパスを案内してもらいました。夕飯を食べ1日目が終わりました。

2、3日目は三姓穴、4・3平和記念館等歴史的な場所や博物館で済州島の歴史を改めて知ることができました。また勉強だけではなくゴーカートやショッピングなど済州島のレジャーも楽しめ、疲れることなく楽しく遊べました。昼食、夕食ではサムゲタンやチーズタッカルビなど韓国ならではの食べ物を食べることができ、友人・家族とあらためて行きたくなりました。最終日は、伝統食品作りとビーチに行きました。昼食を食べ関西から来た方々と別行動になってしまったので、あっという間の3日間だと思いました。飛行機に乗っている時にこのメンバーで行けてほんとうに良かったと感じました。次回もこのような機会があったら同じメンバーで行きたいです。



●房総で気晴らし日帰りバス旅行



第6回家族同伴日帰り旅行会が2019年5月19日に開催された。今年もまずは上野で集合したが、なんと、理事・会員・婦人会員やその家族など参加者がここ数年で最も多い57名となり、大型と中型のバス2台で出発することとなった。年々、参加者を通して当協会のバス旅行の楽しさが、会員に広まっていると実感し、今回も楽しいバス旅行になることを期待しつつ、いざ出発。

千葉内房方面へはアクアライン経由で向かい、まずは、海ほたるでしばし休憩。千葉に入ると最初の観光スポット「濃溝の滝」を訪れた。当日、小雨が降ることもあったが、滝と洞窟にはちょうど春の陽光が差し込み幻想的な光景を見ることができた。洞窟周辺には遊歩道が整備されており、新緑の豊かな自然の中で、ゆったりと散歩を楽しんだ。子どもたちも虫や葉っぱを拾ってのどかな時間を過ごした。

次は、カステラ工房にて、地元の新鮮な卵とはちみつが使われたカステラを試食しつつ、お土産を購入。昼食は「保田食堂 萬壽山」での海鮮炭焼きだった。サザエに鮑、あさり、鰯、伊勢海老などを炭火でじっくり焼いて、ビールとともに満腹になった。そのあとは、道の駅「保田小学校」で買い物。閉校となった小学校の校舎を利用した施設で小さな机と椅子もそのまま保存されており、小学生のころが懐かしくなった。東京に比べて激安の野菜や草花を購入する人が多くいた。

最後は酒蔵見学。今回は、小泉酒造という酒蔵を見学し、13代目の蔵主自ら酒蔵を案内してくれた。お酒の品評会などで賞を受賞したたくさんの銘柄があり、それらすべて試飲ができて、たいへん美味しく大満足だった。帰りのバスは、ラッキーなプレゼントをゲットできる恒例のビンゴ大会と到着時間当てゲーム。ちびっこたちのカラオケもあり、帰りのバスも大いに盛り上がった。今年も期待どおりの楽しいバス旅行となった。

組 織

●第59期役員

顧問：高瑋鉉 高章守 夫昇培 金和男 李淳元 李徳雄 金英秀
呉賛益 鄭平普 高尚弘 李大浩 高隆博

常任顧問：夫奉秋

相談役：梁直基 呉益鐘 李 権 韓在銀 高富仁 金秀吉 呉敬進 金修一
金光一 慎龍九 金用實 金昌世 金成日 朴時男 呉仁敦
姜丞宝 宋信彦

会長：李相訓

副会長：高哲明 黄璟浩 宋暎民 副会長 兼 総務部長：梁日勲

副会長 兼 宣伝部長：韓永紀 副会長 兼 組織部長：金元伸
 財務部長：鄭禎憲 事業部長：金哲祥
 国際部長：李京旻 渉外部長：金聖宗
 総務次長：金帝憲 事業次長：洪正敏
 渉外次長：梁広実 青年部長：高奈利
 監 査：洪龍次郎 金建夫

●協会ニュース発行

第49号（2018年8月17日）

第50号（2019年2月28日）



第49号

第50号

定期総会

●第59回定期総会開催



2019年6月22日、上野ホテルパークサイドにおいて「第59回定期総会」が開催され、理事・会員、婦人会役員、青年部部員諸氏、報道機関を含め総勢61名が参席し、2018年度の年間事業報告・決算報告等、滞りなく進行し無事に終了した。

また、第32代会長職には前期に続き李相訓会長が選出された。李相訓会長より32代の抱負として、前期から開催されている拡大理事会の開催や理事・会員の集いの回数を増やし、会員の方は理事になっていただき、皆様と一緒に済州道民協会を盛り上げたい趣旨の提案が改めて述べられた。

●(株)済京第17期定時株主総会開催

(株)済京の「第17回定時株主総会」が2019年5月25日文京区湯島の本社会議室にて、この議決権の総数（発行済株式数800株、株主総数31名）のうち定足数たる株主の出席があり総会は適法に成立すると成立宣言の後、呉賛益代表取締役が議長となり、高尚弘道民協会顧問の進行役のもと開会された。

議案審議のなかで第17期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）決算の事業報告および計算書類承認の件について呉賛益代表取締役が概況説明を行い満場一致で承認された。また、取締役と監査役全員の任期が本会終了後の時をもって満了となり、現取締役である呉賛益、金和男、金光一氏が重任、新しく取締役として鄭平普、高尚弘、李相訓氏3名が、監査役には高隆博氏が選出された。そして、設立から17期にわたり(株)済京の発展に尽力してきた呉賛益代表取締役の勇退に伴い新代表取締役として李相訓現道民協会会長の選任が満場一致で承認された。最後に呉賛益代表取締役が株主の皆様の前で17年間の総括を行い閉会となった。

株式会社済京 代表取締役辞任に寄せて

代表取締役 呉賛益



2019年5月に行われました(株)済京の総会にて、代表取締役を辞任し、総会の承認を得て在日本関東済州道民協会（以下道民協会と言う）の現会長である李相訓氏に移譲することといたしました。

私は平成14年11月に1株10万円とする株式を発行し、資本金4,800万円資本準備金3,200万円とする株式会社済京を創設し、その代表取締役に就任いたしました。(株)済京設立の主旨は、道民協会が切望して久しい収益事業としての不動産を購入し、財政基盤の確立を計り、事業のさらなる発展的継続を願うところから始まります。道民協会からの皆様方より、1億円の事業資金を調達するためには1,000人の会員から1人10万円の賛助金を募集しなければならず、とても実現不可能な計画であります。

また、1億円では東京、特に文京区、台東区、千代田区内において商業地域の収益物件を購入することは無理があります。

当時の私はその問題を克服し、事業用収益物件購入のため、株式会社済京を設立し、金融機関から融資を受け、事業資金とする事で資金運用の問題解決を図ることとし、かねてより弊社(株)美浜と取引している信用金庫ならびに信用組合の担当者に相談したところ、新会社への融資に慎重な金融機関ではありますが、積算価格や収益還元法等で当該金融機関の査定に見合う不動産を担保に差し入れ、(株)美浜と私個人が連帯保証する事を条件に成立することと相成りました。

(株)美浜を買主とする不動産売買契約書に基づき、手付金契約済みの収益物件に対し「特約条項で(株)美浜が希望する他の法人1社に限り可とする条項」を基に現在の通称K・S・Kビルを購入し、現在に至っております。

平成15年7月信金から総額4億3,000万円を借入れ、平成31年3月末残高は1億4,248万と、2億8,752万円を返済し、さらには繰越利益剰余金として1億4,637万円を平成31年3月31日現在計上し順調な経営を続けております。

また、株主の皆様方に対する配当金として1株当たり4%（4,000円）の配当を株主総会処分案の同意を得て、株式発行から今日迄、一度も前年比減額配当の無い魅力ある株式として配当を続けてまいりました。道民協会への財政面における協力と(株)済京株主に対する私の立場は二律背反するところであり、苦勞するところではありましたが、これもひとえに株主の皆様方の支援と17年間変わらぬご協力の賜物であり感謝いたしております。

又、(株)美浜が所有する文京区湯島3丁目の区分所有建物を譲り受け、30名以上収容可能な会議室とともに、道民協会、婦人会、青年部ならびに(株)済京の本社として活用していることは皆様ご承知のとおりであります。

済州道民協会は1961年2月名称を在日本済州開発協会として出帆し、その後現在の

道民協会に称号が変更され現在に至る済州道を故郷とする済州人による済州人のための歴史と伝統を誇る親睦団体であります。

その協会の趣旨書を要約すると漢拏山の麓で育った私たちは、複雑多難な日本に居住しながらも常に懐かしい故郷を忘れることなく、憧憬してきた。

私たちが無限に愛し、懐かしんでいる故郷済州道の現状をみれば、農耕魚撈など古代的な形態がそのまま残っており、現代的な開発がないところからまだ後進性を脱皮できずにいることは、本当に情けないことである。

今日私たちは、このような非文化的生活条件下においてさまよっている道民の現状を到底傍観することはできない。

ここに私たちは先祖の崇高な開拓精神を受け入れ創意性を発揮し、郷土開発に先駆的な役割を担うのが私たちの義務であると考えると同時に、多年間海外で苦勞してきた甲斐をここで探さなければならないのである。

済州道に無尽蔵な水陸資源に対する近代的な開発事業と交通、教育、文化的施設が短期間、あるいは個人的な力で達成するのが難しいことであると熟知している私たちは、まず在日済州道出身者を網羅した組織体を結成し、相互間の親睦を図りながら郷土開発のための事業を推進する基盤を磨いておくのである。

私たちの誇りである団結と愛郷心、そして勤儉性と相互協助する美風の伝統を得ることを要望するとの気迫溢れる一筆は先人たちの済州道に対する愛郷心と心意気が私の心を打ち、私も故郷の発展に寄与することの覚悟を持って残りの人生を送ることを誓う済州人であります。

●青年部 青年部長 高奈利

青年部の会員は、18歳～45歳のメンバーで、月に1度定例会を開催している。

○定例会（4回開催）

2018年8月24日 ビアガーデン 12名

9月23日 日韓交流おまつりに11名参加。他団体の方と交流を図りながら韓国料理やK-POPなどの韓国文化に触れた。

4月22日 金正明青年次長のワインセミナー 13名、協会4名

6月9日 BBQ 9名

○行事

10月13日 済州道・慶尚南道・慶尚北道3団体合同BBQ 25名（総勢85名）／メンバーの家族を交え1日中普段は会えないメンバーとの土手遊びを楽しんだ。

11月23～25日 札幌親睦旅行 11名／北海道ならではの食事を楽しみ、乗馬や観光な



ど、旅行を通じて今まで以上に仲間との絆が深まった。

12月4日 忘年会 18名／大間のまぐろ1丁を目の前に、はまぐりで掬って食べるなど、毎月さまざまな企画を青年部の仲間たちと楽しんでいる。

2019年1月26日 新年会（協会新年会参加後）20名

○総括

現在ライングループ加入人数73名と、昨年より7名増加し、新規メンバーにも積極的に参加してもらっている。今後は済州道の歴史や文化など、外部の先生をお招きして学ぶ機会なども設けたい。済州の心を私たちが受け継ぎ、また次世代へと繋いでいく一員になりたいと思う。

●済友会ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第149回	2018年7月17日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	金光珍
第150回	2018年9月25日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	朴世正
第151回	2018年11月28日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	李相訓
第152回	2019年4月3日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	玄忠吉

在日済州婦人会

●ランチ＆映画鑑賞会

2018年9月19日に「ランチ＆映画鑑賞会」を開催し、26名が参加した。ホテルパークサイドの地下「蓮風」の中華料理に舌鼓をうちながら、楽しいおしゃべりに花が咲いた。送年会の雰囲気とは違って、本格的な落ち着いた個室での食事は異空間を感じさせ、とても和やかな中での食事だった。ホテル側の厚意により、別室にて映画鑑賞ルームが用意され、ルームシアターの雰囲気の中で映画「ラスト・プリンセス」を鑑賞した。李氏朝鮮国王・大韓帝国皇帝高宗の王女徳恵翁主の生涯を描いた感動作で、暗幕の中、涙が光る会員たちがほとんどだった。



●第22回定期総会・送年会

2018年12月1日、ホテルパークサイドにて第22回定期総会および送年会が開かれた。左玉花顧問が名誉ある「金萬徳賞」を受賞したことを受け、在日本関東済州道民協会 李相訓会長をはじめ役員、婦人会役員・会員の前で、金貞子会長による花束贈呈のセレモニーから始まった。これからも、さらに仲良く楽しい婦人会にしていきたいと、2018年を送る楽しい会となった。

会員ニュース

●左玉花婦人会常任顧問 金萬徳賞受賞

2018年10月21日済州市沙羅峰にある毛忠祠において「第2回金萬徳週間の行事」が行われ、萬徳祭奉行とともに「第39回金萬徳賞授賞式」が開催され、経済人部門で在日済州婦人会 左玉花常任顧問が受賞に輝いた。道では9月12日金萬徳賞審査委員会を開き、候補者6名の功績事項審査、現地調査・報告等をもとに面接を行い、最終的に左玉花常任顧問が選定され受賞に至った。1980年から始まった金萬徳賞はこれまで計47名（ボランティア部門39名、経済人部門8名）が受賞している。

左常任顧問は、西帰浦市西帰洞で生まれ17歳に渡日。苦労が報われ日本で事業家として活動しながら、1967年在日韓国民団港支部に入団し、支部の韓国商工協同組合建築に30万円を寄付。39年間にわたり在日同胞たちの安定的定着を手助け、特に、自分の苦しかった時代を忘れず経済的に恵まれない青年のため多様な支援活動を行って来た。1969年済州出身大学生の人材養成のための済州奨学財団創立の際には、女性で唯一の出捐理事として100万円（現相場2億ウォン相当）を寄託し、奨学金は現在まで49年間96回にわたり7,123名に支援された。また、2016年済州大学にグローバル人材育成のための発展基金として1億ウォン、西帰浦聖堂に奨学金1億ウォンを寄託した。その他、1984年済州道開催の「第13回全国少年体育大典」に100万ウォン、1987年と1988年セマウル義捐金として200万ウォン、1990年西帰浦市文芸会館図書購入基金として200万ウォンを、2002年には東烘洞公園に3,600万ウォンをかけ、高さ8m規模の時計塔を寄贈し、道民の文化水準向上にも寄与している。

在日済州婦人会においては1997年会創立発起人を務め、副会長3期、監査等役員として会を支え、2009年より第7・8代会長を務めた。在任中は婦人会の発展のため精力的に親睦行事を開催し、同胞社会に知らせた。現在は同会の常任顧問として、済州奨学財団の理事を務めながら、民団港支部では婦人会監査と敬老会会長に在任中。賞金500万ウォンは11月8日萬徳記念館に寄付された。

●金光一相談役 国民勲章牡丹章受勲

2018年度済州特別自治道文化賞受賞

当協会の金光一相談役が、2018年11月14日駐日本国大韓民国大使館にて開催された「2018年第12回世界韓人の日記念 有功同胞褒賞伝授式」において国民勲章牡丹章を受章した。

また、2018年12月19日午前11時より済州市ソルムンデ女性文化センターにて開催された「2018年度済州特別自治道文化賞授賞式」においても、国外在外道民部門の文化賞を受賞した。

金光一相談役は、2005年より2期4年間に副会長として済州道の行事に精力的に協力し、今日まで相談役として当協会を物心両面において支えてきた。また、2009年より、東京韓国商工会議所の会長を3期7年間にわたって務め、会員拡充や東京韓商第2ビル取得の財政基



盤の強化、グローバル化と組織繁栄のための上海韓国商工会との姉妹結縁、被災地をはじめ、在日同胞や地域社会支援のためのチャリティー事業、在日商工人の資質向上や事業発展のための各種講演会等多くの事業を行い、東京韓商を飛躍的に成長させてきた。

そして、2011年より混迷していた在日韓国商工会議所を統合するために計り知れない労力を費やし、2016年より2年間、一般社団法人在日韓国商工会議所の会長職を立派に務め、現在は名誉会長として尽力している。



このように、済州道、在日済州人のためはもちろん、在日商工人の経済発展のためにも絶えず努力を惜しまず、同胞社会で幅広い信任を得ていることなどが受賞の理由である。式には、金光一相談役の夫人や済州在住の親戚、東京韓商や在日韓商の事務局の方々、李相訓会長も参席した。

●黄昌柱相談役を偲ぶ

当協会相談役 黄昌柱氏（民団中央本部顧問、民団神奈川県本部常任顧問）が自宅で病氣療養中のところ、2019年3月10日午前0時14分、心不全のため逝去された。享年91歳。通夜は3月20日、告別式は21日いずれも静岡県熱海市の保善院で執り行われた。

黄昌柱相談役は、1927年済州市旧左邑金寧里で生まれ、13歳で日本に渡り、独学で関西大学経済学部に進学したが、実業に集中するため中退し、1967年に共栄株式会社を創立した。温厚な人柄が認められ、1980年から4期10年間、在日本大韓国民団湖南西支部団長をはじめ、民団神奈川県本部副団長、議長を経て2000年から2003年まで団長を歴任した。当協会においては1999年より理事として、2001年より相談役として当協会を温かく見守った。その他、済州商工会議所顧問、済州道体育会顧問、民主平和統一諮問会委員、西湘日韓親善協会会長、民団人権擁護委員会委員長などを歴任した。永年にわたり神奈川県において同胞社会の地位向上などの民団活動や地域社会との親善交流に努めた。また、故郷発展のため寄付や人材育成・奨学事業を惜しみなく支援した功績が称えられ、韓国政府から1990年国民勲章冬柏章、2000年済州道文化賞（海外同胞部門）、2005年牡丹章、教育省長官賞などが授与された。

著書には黄相談役の半生を描いた自叙伝「マイウェイー共に栄える」がある。



■国際部長 李京旻氏のご尊父 李奉錫氏が、病氣療養中のところ8月7日永眠され、9日済州道西帰浦市山房福祉会館葬儀場にて葬儀が営まれた。（享年74歳）

■張政宗（長岡正宗）元理事が病氣療養中のところ、11月16日に永眠され、21日寛

永寺輪王殿にて通夜、翌日告別式が営まれた。（享年84歳）

■相談役 黄昌柱（吉田博）氏が病氣療養中のところ、3月10日逝去され、20日静岡県熱海市保善院にて通夜が、翌日告別式が営まれた。（享年91歳）

人物交流

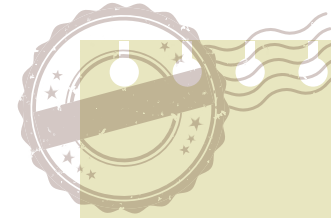
●2018年

- ・6月7日 上野東天紅にて東京日韓親善連合会「2018年度定期総会」が開催され、李相訓会長、高哲明・宋暎民両副会長が参加。
- ・8月6日 日本地域済州4・3事件犠牲者遺族追加申告広報のため、同真相糾明及び犠牲者名誉回復実務委員会 洪性洙副委員長他、委員10名、済州道庁4・3支援課 尹・スンオン課長他2名 計14名が来訪し、李相訓会長、高哲明・宋暎民副会長、李始禹事務部長と意見交換を行った。
- ・9月3日 事務局にて「第14回定例常任役員会」終了後、「拡大理事会」が午後6時より開かれ、高瑋鉉顧問はじめ4名、相談役では慎龍九相談役はじめ3名、執行部では李相訓会長はじめ9名の総勢16名が出席。
- ・9月6日 民団中央本部推薦で韓国学中央研究院の依頼で「世界韓民族文化大典（日本編）」制作している株朴&朴メディアより3名が来訪し、当協会の「ミカン苗木送り事業」について当時実務者である高章守顧問のインタビューが行われた。
- ・9月22日 「日韓交流おまつり2018 in Tokyo」が日比谷公園にて開催され、開会式に李相訓会長が参席。
- ・10月4日 「済州4・3 70周年記念国際学術大会」が済州市KALホテルで開催され、宋暎民副会長が参加。
- ・11月12日 「第16回定例常任役員会」終了後、午後7時より和食バルさしすそにて「第3回理事・会員の集い」が開催され、鄭平普顧問、金光一・朴時男相談役はじめ会員4名、李相訓会長はじめ執行部11名、在日済州婦人会から金貞子会長他3名の総勢22名が参加。
- ・12月2日 京王プラザホテルにて在日韓国婦人会東京本部の「創立70周年記念式典・第17回東京長寿会」が開催され、李相訓会長、高哲明副会長が参加。
- ・12月10日 平成最後の懇親忘年会を上野ホテルパークサイドにて開催した。高瑋鉉顧問をはじめ8名と、相談役では金秀吉相談役をはじめ8名、そして李相訓会長をはじめとする執行部15名、総勢31名が参加した。李相訓会長より2018年の協

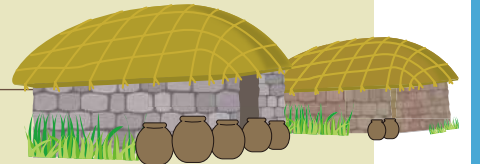
会運営の報告や今後の運営についての話があった。また諸先輩方から貴重な意見があり、大変有意義な懇親忘年会となった。

●2019年

- ・1月9日 株大韓航空東京旅客支店 妹島裕也支店長と前川論係長が来訪し、李相訓会長と談話。
- ・1月21日 済州大学 李昌益教授他1名引率のもと、日語日文学科学生8名が来訪し、李相訓会長、高哲明副会長と話合い。
- ・1月26日 済州道から元喜龍知事一行16名を羽田空港から、李京旻国際部長、金聖宗渉外部長が上野三井ガーデンホテル・上野ホテルパークサイドまで案内。済州大学3名、西帰浦市7名が合流し、会場まで案内。
- ・1月27日 済州大学 宋錫彦総長一行18名を宋暎民副会長、金聖宗渉外部長が東京駅まで歓送。
- ・3月31日 在日本大韓体育会「創立65周年記念式典兼2020東京五輪出場予定選手激励会」が帝国ホテルにて開催され、李相訓会長が参加。
- ・4月8日 「第22回定例常任役員会」終了後、「拡大理事会」が午後6時より開催され、鄭平普顧問はじめ2名と、宋信彦相談役他1名、李相訓会長はじめ執行部11名、在日済州婦人会 金貞子会長他1名、総勢17名が出席した。引き続き、午後7時過ぎに和食バルさしすそにて「第4回理事・会員の集い」が開催され、鄭平普顧問はじめ3名、宋信彦相談役他1名、理事・会員4名、李相訓会長はじめ執行部役員10名、在日済州婦人会 金貞子会長他1名、総勢21名が参加。
- ・5月27日 上野東天紅にて東京日韓親善協会連合会「2019年度定期総会」が開催され、李相訓会長、梁日勲副会長が参加。
- ・5月29日 民団中央本部主催で「第24代南官杓駐日本国大韓民国特命全権大使歓迎会」が品川プリンスホテルにて開かれ、李相訓会長が参加。
- ・6月3日 午後6時半より上野ホテルパークサイドにおいて「顧問会」が開かれ、高瑋鉉顧問はじめ7名、李相訓会長はじめ執行部役員15名の総勢22名が参加。



済州道通信



●第13回平和と繁栄のための済州フォーラム

2018年6月26日から3日間にわたり、済州特別自治道主催、済州平和研究院主管で「第13回平和と繁栄のための済州フォーラム」が済州国際コンベンションセンターにて開催された。今回のテーマは「アジアの平和再確立」。当協会からは李相訓会長、宋暎民副会長が参加した。

27日に開かれた開幕式で元喜龍知事（組織委員長）の開会辞に続き、李洛淵国務総理が演説で、「韓半島を世界平和の発信地にしたい」という韓国政府の確固たる意志を伝えた。また、潘基文元国連事務総長、ブライアン・マルルーニ元カナダ首相、福田康夫元日本首相は基調演説と対談を通じて、韓半島と北東アジア平和定着方案について助言。ノーベル経済学賞受賞者のニューヨーク市立大学 ポール・クルーグマン教授の特別講演を含め盛大に開催された。参加者たちは60あるセッションの中から、参加者の興味やお薦めをもとに選択した。各セッションでの学び、参加者同士のビジネス交流もあり、貴重な経験となった。

2001年に出版した済州フォーラムは、ダイナミックなアジア地域で持続的な平和と繁栄を実現するための方案を模索してきた。アジアの平和再確立に対する問題を世界指導者および各界専門家等が意見を提示して共有する多国間論議の場となる。



●第53回済州特別自治道民体育大会

2019年4月19日より3日間の日程で西帰浦カン・チャンハッ総合競技場において「第53回済州特別自治道民体育大会」が開催され、当協会からは李相訓会長、宋暎民副会長が開会式に参加した。

第92回アカデミー賞で 『パラサイト 半地下の家族』四冠受賞



「（字幕という）1インチの壁を越えると、もっと多くの映画と逢える。我々はただ一つの言葉を使っていると考える。その言葉とは映画である」

2020年1月6日、米カリフォルニア州ビバリーヒルズで行われたゴールデングローブ賞の外国映画賞（韓国語の映画名は기생충：キセンチュン：寄生虫。日本では『パラサイト 半地下の家族』、以下『パラサイト』と表記）

を受賞した韓国の映画監督 ボン・ジュノ（奉俊昊、52歳）の受賞所感であった。

2019年5月にカンヌ国際映画祭で『パラサイト』が韓国映画史上初めて、最高賞のパルムドール賞を受賞したのも驚きだったが、先述のゴールデングローブ賞での監督の受賞所感での「我々はただ一つの言葉を使っていると考える。その言葉は映画である」という彼の言葉はもっと驚きであった。映画の概念を一言で見事に表しているからだ。

その言葉の具体的な意味を聞く記者らに対し、彼は「北米の観客の皆さんは字幕のある映画を敬遠すると言われています。大きなものではないこの壁を超えると、映画の海が広がるという意味です」と語った。

その先見性は1カ月後、アカデミー賞の場面で見事に証明された。

映画の中で、半地下の家に住む主人公の家族と、優雅な暮らしの上流社会の家の匂いと生活は根本的に違っていた。この差別と格差の不条理は、在日社会にもあった。今は日本でも堂々と市民権を得たキムチに象徴される「ニンニク臭い」が、在日の代名詞になっていた時代も『パラサイト』と変わらないものであったのだ。

2020年2月9日、米ロサンゼルスハリウッドで行われた第92回アカデミー賞で『パラサイト』が作品賞、監督賞、脚本賞、国際（長編）映画賞（2019年までは外国語映画賞）の四冠を獲得した。特に、最重要部門である作品賞を外国映画が受賞したのは初めてのことであり、さらに監督賞まで同時受賞となったのは、多方面に計りしれない衝撃を与えた。

そうした意味でこの日の受賞式場は「世界の映画の祝祭場」ではなく、まさに「韓国の映画の日」だった。いや「『パラサイト』の日」だったといえるだろう。

新型コロナウイルス感染症が、2019年12月に中国で初めて報告された後、あっという間に世界中に広がった。この新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは21世紀の科学文明に無力感を与え、いっぽう新しい社会生活の構造改革を始める契機になり、今も模索中で進行形である。

第32代会長に李相訓氏再任



李相訓 第32代会長

会長就任によせて

このたび、在日本関東済州道民協会「第59回定期総会」において第32代会長に就任いたしました李相訓と申します。

まずは、これまで当協会の発展に多大なるご尽力とご協力をしてくださいました諸先輩方に深く感謝申し上げますとともに、「株式会社済京」を設立し、財政基盤を確立してくださいました顧問ならびに相談役の皆様

に、改めて御礼申し上げます。
2017年より2年間にわたり当協会を運営してまいりましたが、もう1期、責任ある役職をさせていただくことは、私自身がほんとうに身の引き締まる思いでありますし、今まで以上にしっかりと活動していく所存です。

そうした中で、今期、特に力を入れていきたいことは、「会員親睦のための交流の機会を増やすこと」と「組織強化」です。まず、理事で希望者の方には道民会名刺を作っていただき、理事としての意識を強く持っていただきながら、済州道における行事にも積極的に参加していただきたいと思っています。

さらに、われわれ執行部を含め、一般理事・会員の方が集えるような機会をこれまで以上に増やし、少しでも多くの方に、会員から理事になっていただくよう努め、理事を増やしていくつもりです。また、2年に1度作っておりました役員名簿を、持ちやすい手帳型に変更し、会員の方から諸先輩方まで、どんな方が入会されているかを把握できることにより、会員親睦の1つとして役に立ててもらえればと考えております。そうしたことにより、道民協会としての組織や繋がりや強さになっていければと思います。そして、これまでの活動の中で経験してきたことを活かし、より多くの方が協会行事に参加できるように努力してまいります。

最後になりますが、諸先輩方が築き上げた歴史ある当協会に誇りを持ちながら、今後も会員の皆様のため、協会の発展のため、済州道のために、執行部一同、婦人会、青年部の皆様とともに、精一杯頑張ってまいりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

主 要 行 事

●第33回夏季郷土学校を開催

2019年7月29日から8月2日まで「第33回夏季郷土学校」が済州特別自治道人材開発院で開催され、アメリカ、日本はじめ海外と韓国内から総勢32名が参加した。当協会からは学生2名と、引率役員として高尚弘常任顧問、李相訓会長、高哲明・宋暎民・梁日勲各副会長、洪龍次郎監査、鄭禎憲財務部長の7名が参加した。

第32代新執行部は済州道庁、道議会、在済州日本国総領事館、済州商工会議所を表敬訪問した。続いて一行は「第33回夏季郷土学校」の入校式に参席した後、世界済州人大会組織委員会主催の夕食会に参加して意見交換をした。

翌日は、当協会主催で済州市内の「一徒鮑屋」にて関西済州道民協会と交流会を行い、関西済州道民協会からは朴泰男会長ほか8名の役員が、当協会では梁広実組織部長が合流し、意見交換をしながら親交を深めた。

学生たちは、5日間のスケジュールのあいだ、済州大学にて済州についての特別講義、博物館、在日済州人センター等の見学、4・3平和公園参拝、済州民俗食品教育農場体験、カンセ人形作り・パッタム体験、オルレ6コース歩き、ヨット乗船体験、榎子林・東門在来市場探訪、海女博物館見学などを体験した。故郷済州道の美しい自然や郷土文化、母国語に触れながら学び、ハラボジ・ハルモニ・アボジ・オモニたちのルーツであることを再確認した。

祖先の故郷、済州でルーツを探す時間

(参加学生 高裕理)

2019年夏の5日間、私の祖父母の故郷である済州島で行われた夏季郷土学校に参加しました。済州島には何回か行ったことがあったのですが、今回の研修で済州島の魅力を再認識し、理解をより深めることができました。そこでは日本、韓国、アメリカなどさまざまな国から故郷が済州島である人たちが参加しており、言語は違えど同じ故郷を持つものとして仲を深め、楽しい時間を過ごすことができました。済州民俗食品教育農場体験、カンセ人形づくり体験、オルレ歩き、ヨット乗船体験、パッタム体験、榎子林探訪、海女博物館見学などを通して済州島の歴史や伝統文化体験、美しい自然に触れることができました。特に印象的だったのは済州大学校博物館での在日済州人センター見学です。私の祖父母がどのように日本に来て大変な思いをしたかを知り、今の何不自由ない自分の生活があるのは、そのときの祖父母たちの努力があるからなのだと実感しました。これからもこのことを忘れずに自分の人生を一生懸命に生きたいと強く思いました。

5日間という短い間でしたが、かけがえのない仲間と出会うことができ、たくさんの貴重な経験ができました。今後この済州島の魅力や祖父母たちの経験をたくさんの人に知ってもらえるように自分も貢献したいです。



●2019在外道民青少年韓国（済州）語講座および歴史・文化体験事業



済州道主催「2019在外道民青少年韓国（済州）語講座および歴史・文化体験事業」が8月5日から5日間にわたり済州観光大学にて開催され、ソウル、釜山、日本から16名が参加し、当協会からは学生1名が参加した。この事業はこれまで、「在日済州人次世代韓国語講座および歴史・文化体験事業」として在日済州青少年を対象

に開催されていたが、年々参加人数が減り、今年からは韓国国内と海外済州道民青少年も参加対象とされた。韓国語基礎課程が必要な学生には韓国語、ネイティブスピーカーには済州語とクラスを分け進行された。また、済州の歴史・文化体験として、ゴーカートや乗馬、海女体験、4・3平和公園、橋來里自然休養林・済州光庭園を探訪した。

●2019年世界済州人大会に参加

2019年10月12日から3日間にわたり、済州道主催、世界済州人大会組織委員会主管で「2019年世界済州人大会」が、済州市一帯と済州国際コンベンションセンターにて開催された。世界各分野で活動している済州人18カ



国591名と道民470名の総勢1,061名が参加し、共に済州人のアイデンティティを再確認しながら済州の未来発展案を模索した。当協会の高瑋鉉・鄭平普・李大浩各顧問、金修一相談役、李京旻国際部長、在日済州婦人会の金貞子会長、金孝淑相談役、(株)アジアナスタッフサービス 玄東實常勤顧問他2名の計10名が参加した。

登録後、「第58回耽羅文化祭」イベントとして、済州市庁から塔洞の耽羅文化広場までの1.5km市街パレードをはじめ、元喜龍道知事、金大亨・金昌禧同大会組織委員会共同委員長、宋在祐国家均衡発展委員長、梁閔京西帰浦市長他800名余りが参加した「済州ディアスポラフォーラム」、済州人サクセスストーリートークショー、次世代ネットワーク交流、グローバル済州商工人リーダーシップフォーラム（済州商工会議所主催）、「済州人和合の夜・歓送晚餐会」に参加した。席上、在日音楽家 梁邦彦氏が同大会の広報大使に委嘱され、大会貢献者6名に功労牌が授与された。パレードでは、参加者中最年長者である高瑋鉉顧問夫妻が最後まで歩き、多くの人々に刺激を与えた一方、参加人数が多い分、細心の気配りが足りず、集合場所で全員が揃うまで約2時間待たされたことは改善してほしい点であった。設立まで在日同胞の関心が注がれた済州国際コンベンションセンターは、いつ訪れても素晴らしい眺望で気持ちが良く、立地・設備ともに満足したと、今回の会場になって良かったとの意見が寄せられた。なお、12日に日本出発で参加予定だった高隆博顧問、李相訓会長を含む16名は、台風19号の影響で空港閉鎖と飛行機欠航により、あいにく不参加となった。

●伊東温泉にて親睦旅行会開催

2019年11月17日～18日の1泊2日で、静岡県伊東市にある「伊東ホテル聚楽」にて親睦旅行会が開催され、理事、会員、婦人会役員、青年部など総勢22名が参加した。それぞれチェックインした後、温暖な伊豆の秋風を感じながら伊東の景色を楽しみ温泉を満喫した。そして夕方6時半に宴会場に集まり、まずは記念写真撮影を行った。開会のはじめに李相訓会長の挨拶があり、会の現状報告や今後の事業予定が話された。引き続き鄭平普顧問、高尚弘常任顧問の挨拶、高瑋鉉顧問の乾杯により開宴し、参加者同士の歓談が始まった。各顧問をはじめ、婦人会役員からも挨拶があり、青年部からも活動報告と自己紹介があった。その後、金正明青年部長を中心に、青年部と親会との「ラブショット！」で盛り上がった後、役員たちが協賛した賞品抽選会やじゃんけん大会が行われ、楽しい雰囲気のうちにお開きとなった。2次会は、「BAR ハイネス」にてカラオケをしながら、和気あいあいと楽しいひと時を過ごした。翌日は、各自朝食をとり解散となった。1泊2日と短い時間だったが、楽しい親睦旅行となった。

●協会主催在京道民会役員合同懇親会開催

2019年11月27日、当協会主催で「在京道民会役員合同懇親会」が開催された。今年は、私たち済州道民協会が幹事役ということで、大人数を同じフロアに収容できる李京旻国際部長の店、上野の焼肉 肉縁にて行われた。当協会からは、顧問・相談役をはじめ、執行部、婦人会役員を含め25名が参加し、他道民会では、東京慶尚北道道民会4名、東京慶尚南道道民会7名、社団法人在日忠清協会6名、在日全北道道民会4名、在日全南道道民会4名、千葉県慶尚北道道民会3名が参加し、総勢53名で行われた。李大浩顧問の挨拶と乾杯ではじまり、肉問屋直営である肉縁の美味しい神戸牛や黒毛和牛を酒とともに満喫した。その後は、各道民会の会長または代表の方より、現在の活動状況や今後の抱負などを交えて挨拶があった。



青年部も3年前より毎年、在京道民会3団体合同バーベキューを開催して親交を深め、大変盛り上がっている。当協会も、長年続いているこの合同懇親会に継続して積極的に参加し、交流の中から新規会員になりうる人の情報や、お互いの良い事業なども参考にしていきたいと思う。

最後に、高瑋鉉顧問、李大浩顧問から、在京道民会のさらなる親睦と、各道民会の発展を願う言葉があり閉会した。

次年は東京慶尚南道道民会が幹事として開催することに決まった。

●2020年家族同伴新年会・成人式開催



2020年1月18日リーガロイヤルホテル東京にて、毎年恒例の「家族同伴新年会・成人式」が盛大に開催され、理事・会員と家族、国内・韓国から来賓を含め約430名が参加した。

済州特別自治道からは、元喜龍道知事夫妻、姜忠龍道議会副議長、李碩文教育監、宋錫彦済州大学総長をはじめ、69名の方が列席され、国内からは、駐日本国大韓民国大使館 金安那総領事、民団東京本部 李壽源団長をはじめ、各関連団体長など46名の方々が参席された。

式典は、李相訓会長の新年挨拶に始まり、元喜龍道知事、金安那総領事、民団東京本部 李壽源団長ならびに各関連団体の来賓の方より祝辞を賜った。また、在日済州婦人会と済州道各機関との間でプレゼントの交換が行われた。

続いて成人式では、新成人として6名（康瑞妃・金莉央・金勇杜・金佳祐・文穂慶・李大佑）が参加し、李相訓会長からの祝辞とともに、当協会および済州道各機関より数多くの記念品が贈呈された。新成人を代表して康瑞妃さんが答辞を述べ、成人としての抱負を語った。

2部の懇親会は、高尚弘常任顧問の乾杯で始まり、余興に鄭美英さんのステージが披露され、会場全体が大いに盛り上がった。

歓談後に行われたビンゴ大会と抽選会では、ラマダプラザ済州ホテル様、リーガロイヤルホテル東京様よりホテル宿泊券が、エアプサン様より釜山行きの往復航空券など、数多くの豪華景品が提供され、大人から子どもまで楽しめた。今年も多くの会員家族が集まり、交流を深めることができた。

組 織

●第60期役員

顧問：高瑋鉉 高章守 夫昇培 金和男 李淳元 李徳雄 金英秀
鄭平普 李大浩 高隆博 夫奉秋

常任顧問：高尚弘

相談役：梁直基 呉益鐘 韓在銀 高富仁 金秀吉 呉敬進 金修一
金光一 慎龍九 金用實 金昌世 金成日 朴時男 呉仁敦
姜丞宝 宋信彦 黄璟浩

会長：李相訓

副会長：高哲明 宋暎民 韓永紀 金元伸 副会長兼総務部長：梁日勲

財務部長：鄭禎憲 事業部長：金哲祥 宣伝部長：洪正敏

国際部長：李京旻 組織部長：梁広実 渉外部長：金聖宗

総務次長：金帝憲 事業次長：河尚利 青年部長：金正明

監査：洪龍次郎 金建夫

●協会ニュース発行

第51号（2019年8月16日）
第52号（2020年2月28日）



定期総会

●第60回定期総会開催

本年度は2020年6月20日に開催予定だった「第60回定期総会」を新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点と、会員の安全を第一に考え書面議決とし、6月19日必着で書面決議書を提出していただいた。その結果は下記のとおりである。

議案

- 第1号議案 2019年度事業報告
- 第2号議案 2019年度一般会計決算報告
- 第3号議案 新年度事業計画（案）
- 第4号議案 新年度予算（案）

すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されたことを報告する。

2021年は当協会が創立60周年を迎える記念すべき年であり、「創立60周年記念式典・2021年家族同伴新年会および成人式」を開催するため、60周年記念事業実行委員会を発足し李相訓委員長のもと、執行部一同、式典準備と「漢拏山第10号60周年記念号」発行に向け進めている。

●(株)済京第18期定時株主総会開催

(株)済京の「第18回定時株主総会」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、株主のご健康を最優先に考え書面議決を行い、2020年5月22日必着で書面決議書を提出していただいた。

その結果、議決権の総数（発行済株式数800株、株主総数31名）のうち定足数たる株主の承認があり議案が可決された。

議案審議のなかで第18期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）決算の事業報告および計算書類承認の件についても承認された。

株式会社済京 代表取締役就任の挨拶

代表取締役 李相訓

私は、2019年5月に行われました(株)済京の総会において、株主の皆様のご承認を得て、代表取締役に就任いたしました。

創設者であられた呉賛益顧問よりご指名をいただきまして、責任感とともに、身の引き締まる思いであります。

呉賛益顧問は、道民協会が切望していた収益事業としての不動産を購入することにより、財政基盤の確立を計り、事業のさらなる発展的継続を願う処を設立の主旨として、(株)済京を創設されました。

(株)済京は、多くの株主の皆様の出資により設立されましたが、その後、呉賛益顧問、(株)美浜様の多大なご協力により、収益物件であるK・S・Kビルと、区分所有である湯島の協会事務所を購入することができました。

K・S・Kビルにおきましては、購入以来、管理業務にご協力いただいている(株)美浜様のおかげをもちまして、全フロアでテナント満室の状態にあり、(株)済京は、順調な経営を続けております。ここに改めまして御礼申し上げます。

また、現在わたくしは、道民協会の会長職も務めさせていただいておりますが、1年を通して多くの事業を円滑に行うことができるのは、会員の皆様のご協力もさることながら、(株)済京からのご支援にほかなりません。

株主の皆様には、常日頃、当協会の運営にご賛同いただいておりますことを、深く感謝申し上げます。

代表に就任して1年程ではございますが、呉賛益顧問の道民協会のさらなる発展を願われた思いと、株主の皆様からいただいたご支援を忘れずに、微力ではございますが、次世代に繋がるよう、できる限り尽力してゆく所存です。

そして、これからも株主の皆様への還元を守りつつ、道民協会への財政面における支援をさせていただきたいと思いますので、変わらぬご協力と、ご指導、ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。

●青年部 青年部長 金正明

青年部は18歳～45歳のメンバーで定例会を開催している。

○定例会（3回開催）

2019年7月22日 定期総会 14名、親会 3名

9月2日 勉強会「今できる愛郷とは」16名

済州大学校在日済州人センターにて2年

間専任研究員を務められていた金泰植先

生をお招きし、在日済州人の「愛郷精神」を主なテーマとして講演していただいた。



2020年3月12日 李京旻国際部長によるビジネスセミナー 20名、親会10名

○行事

2019年10月25日～27日 済州島親睦旅行 19名

「会員同士の親睦ならびに現地学生との交流により済州についての見識を深める」ことを目的に、2泊3日で済州島親睦旅行に行き、済州女子学園を訪問。学生と文化交流を図ったり、城山日出峰、万丈窟の2つの世界自然遺産を訪ね親睦観光をし、楽しくそして大変有意義な親睦旅行となった。

11月9日 済州道、慶尚南道、慶尚北道3団体青年部合同BBQ 38名、親会2名（総勢84名中）、当青年部だけで半数の40名を占め、当青年部の盛り上がりを改めて実感した。

12月16日 忘年会 12名、親会2名

2020年1月18日 新年会（協会新年会）20名

○総括

今期は「さらなる会員の拡充」、「最低限の規律の厳守」、「親会の方々とのさらなる交流」と3つの目標を掲げ、活発に活動に取り組んで来た。

現在青年部のLINEグループ加入人数は90名と、昨年より17名増加し、新規メンバーも積極的に参加してもらっている。

今期の活動は計7回と回数を重ねたが、中でも済州島旅行は格別な思い出となり、部員同士もいつも以上の交流を深めることができた。また3団体青年部合同バーベキューなど他団体との交流においても、当青年部は圧倒的人数を誇る。

上記活動に加え、4月に家族同伴花見会と焼肉パーティーを企画していたが、コロナ禍の影響で中止となった。

●済友会ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第153回	2019年7月2日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	康藏哲
第154回	2019年10月3日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	丁福男
第155回	2019年12月17日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	梁榮淑
第156回	2020年3月6日	霞ヶ浦国際ゴルフコース	李相訓

在日済州婦人会

●初夏の長崎・五島旅行

長崎・五島の旅を2019年6月4日から2泊3日で計画し、20名が参加した。

ちょうど九州地方は梅雨に入り、雨の心配をしながら羽田空港から長崎へと出発し



た。長崎に到着後、福江島に向かったが心配をよそに、青い空とエメラルドグリーンの海に囲まれたほんとうに息をのむほど美しい島だった。ホテルでは、福江島でしか食べられない料理をいただき、カラオケ、ビンゴゲームで盛り上がった。ビンゴ賞品は役員有志から集められた品々で、会員たちは子どものころに戻ったようにはしゃぎ楽しんだ。

2日目はグラスボートを貸し切り、海中公園を周遊した。どこまでも透きとおった海、美しいサンゴ礁を泳ぎ回る「すずめ鯛」に、思わず「あっ、チャリだ！いま済州道ではお刺身が美味しいね！」の言葉にみんなの笑い声。五輪教会堂、江上天主堂など、昔の隠れキリシタンの足跡を顧みることができた。

3日目は長崎原爆資料館、平和公園などを見学、今なお苦しんでいる人々がいることを想い、平和の願いの象徴である千羽鶴に胸が熱くなった。最後に世界遺産の大浦天主堂、グラバー邸園などを散策し、美しい長崎を後にしながら羽田空港へ到着。思い出深い旅行となった。

●ランチ＆映画鑑賞会開催

2019年9月24日、ホテルパークサイドの地下にある「蓮風」にて美味しいランチを楽しみ、ホテル別室で映画「国際市場で逢いましょう」を鑑賞した。2回目の映画鑑賞には43名も参加した。韓国で大ヒットしただけあってとても感動的な作品だった。

●第23回定期総会・送年会

2019年12月7日、ホテルパークサイドにて「第23回定期総会および送年会」が開かれ38名が参加。当婦人会第12代会長に趙年子氏が選出された。在日本関東済州道民協会 李相訓会長をはじめ役員の皆さまとともに在日済州婦人会発展のため微力ながら会員の皆さまのご協力を得て頑張りたいと決意を述べた。

●第12代会長に趙年子氏就任

アンニョンハセヨ。

2019年12月7日に第12代会長に任命されました趙年子と申します。

在日済州婦人会に入会して20年余りが過ぎ、本当に親睦を深めることができました。皆様と故郷を共にし、ルーツを済州道に置き、歴代会長のもとさまざまな事を学んで参りました。これからも会員の皆様と一緒に婦人会を盛り上げ思い出作りに努めて参りたいと思っております。

新型コロナウイルスが世界的に大流行し、日常生活に大きな支障をきたしておりますが、未だに終息が見えず不安な毎日の中、会員の皆様はいかがお過ごしでしょう



会長 趙年子

か。5月には日帰り旅行、映画鑑賞などを計画しておりましたが、外出自粛要請がかかり活動停止を余儀なくされたことをとても残念に思っております。withコロナ！これからは新しい生活様式になることとなりますが、長い自粛生活、くれぐれもお体ご自愛ください。

感染拡大が落ち着きましたら役員一同と楽しい旅行を計画する予定でおりますので楽しみにしててください。

●第12代役員

常任顧問：呉春花 左玉花 金夏子 金貞子 相 談 役：康仁順 金孝淑
会 長：趙年子 副 会 長：金久美子 玄英子
総務部長：李仁秀 総務次長：洪安子
財務部長：韓連淑 財務次長：金善子
文化部長：高貞子 監 査：金泰子 康春花

会員ニュース

●呉賛益顧問を偲ぶ

当協会顧問 呉賛益氏（在日韓国商工会議所顧問、東京韓国商工会議所常任顧問、民団東京地方本部顧問）が、2019年10月2日、かねてより病氣療養中のところ逝去された。享年73歳。通夜は10月10日、告別式は11日、いずれも上野の寛永寺輪王殿にて、しめやかに行われた。

遺族は妻と3男。喪主は夫人の金善子氏（当協会婦人会財務次長）が、式は長男である呉陽新氏（当協会会員、株式会社美浜 代表取締役社長）が葬儀委員長を務め、(株)美浜・呉（富山）家の合同葬儀として執り行われた。

通夜、告別式には、民団中央本部、民団東京本部、東京韓国商工会議所、その他各機関の幹部役員、福島県いわき市 清水敏男市長、(株)テレビ朝日 川村昇司解説委員はじめ日本の各界人士や、済州道からも、禹瑾敏歴代知事をはじめ、道庁他、各関係機関より多くの方が来日し、700余名が参列した。

呉賛益顧問は、1946年東京都足立区梅島で生まれ、福島県立磐城高等学校在学中は、野球部の4番打者として、社会人野球部では韓国遠征試合にも行くほど活躍した。仕事においては厳しい環境でありながらも、25歳のときに不動産業を始め、多くの不動産を所有する「株式会社美浜」の創始者としてりっぱに成功し、後継者にも恵まれている。

当協会では、副会長時の2002年11月に株式会社済京を設立し、代表取締役就任。2003年に第24代会長を歴任した。当会のために、収益還元できる賃貸物件のK・S・Kビル（千代田区外神田）と、2004年に文京区湯島の協会事務所を区分所有として購入。会長就任時には、



計り知れないほどの苦労を経験したが、協会発展のため、献身的に尽力した。

また、2005年には、時代の流れとともに、組織の構成やあり方を考慮し、それまでの「在日本済州道民協会」という名称を、現在の「在日本関東済州道民協会」と、協会運営の実情に即し改称した。その後2006年、在外同胞で初めて、在外済州道民会総聯合会第7代会長に就任し、2011年には、世界7大自然景観日本地域推進委員長を務め、精力的に活動した結果、済州道を選出に導いた。

東京韓国商工会議所においては、2006年、第10代会長に就任し、株式会社峠を設立。代表として2棟のビルを購入し、その収益を会の財政にあて東京韓商を強固なものにした。3年間の任期中には、理事でもあったあすか信用組合の名誉理事長を務め、預金活動においても大きな成果を挙げた。

この他、国立済州大学校、金萬徳事業後援、東京韓国学校など、さまざまな関係機関を支援。特に、福島県いわき市には、幾度となく私財を寄附し、災害からの復興とその後の再建のために貢献したことを受け、日本国天皇陛下より紺綬褒章が授与された。また本国からは、外交通商長官賞、済州道文化賞、済州商工大賞、国務総理表彰等、多くの感謝状も受賞している。

●金秀吉相談役 国民勲章牡丹章受勲

当協会 金秀吉相談役が10月7日韓国政府より、2019年第13回世界韓人の日記念国家有功同胞褒賞者に選ばれ、11月28日駐日本国大韓民国大使館で開かれた伝授式にて国民勲章牡丹章を受章した。



南官杓大使は、「本日受勲したみなさんは、厳しい時代の中でも長きにわたって、祖国発展と在日同胞のために物心両面で尽くしてきた誇らしい方々であり、この勲章は大韓民国と国民たちの感謝の気持ちの表れです。韓日関係が厳しければ、いちばん苦勞するのは在日同胞であることをしっかり理解しています。今後も一緒に発展のために努力しましょう」と呼びかけ、金相談役は「青春時代から民団社会に携わってきたが、なぜか使命感のようなものを感じていました。いただいた勲章は、これからも在日同胞社会発展と韓日親善のために働けという指示と受け止め、今後も一心一意の覚悟で臨んでいきます」と新たな決意を述べた。

金相談役は1942年済州市旧左邑松堂里で生まれ、15歳に渡日し勉学に励み東洋大学を卒業。のちに西日暮里で会社を営みながら、在日同胞社会には25歳で民団荒川支部青年会長に任命されたのを皮切りに、監察委員長、議長、支団長を経て、2000年より民団東京本部教育特別委員会委員長、民主平和統一諮問会議 日本東部地域幹事、東京韓国学校理事、民団東京地方本部副団長を2期、議長、2013年からは同本部団長を2期歴任。現在は、民団中央本部と東京地方本部常任顧問に在任中。

団長在任中は、次世代育成にも力を入れながら、韓日友好親善のため、2015年韓日国交正常化50周年記念として、東京日韓親善協会の韓日関係者170名を引率し本部研修会を済州道

で開催した。また、ヘイトスピーチ根絶のため、都内各区議会に「国に対する対策法制定」を求める意見書採択の要望活動を精力的に展開したほか、2018年平昌冬季五輪の後援募金運動でも率先して各支部や経済人らに呼びかけた。50年以上にわたり在日同胞の權益擁護のために努めてきた大きな功績が称えられ受勲に至った。

■金昌浩理事のご母堂 文奉洙（金原君子）氏が6月12日永眠され、足立区東葬儀社にて15日に通夜が、翌日告別式が営まれた。（享年85歳）

■顧問 呉賛益（富山君雄）氏（（株）済京前代表取締役、呉陽新会員、呉哲新理事のご尊父）が病氣療養中のところ10月2日に逝去され、10月10日上野寛永寺輪王殿にて通夜が、翌日告別式が営まれた。（享年73歳）

■李庸俊理事が病氣療養中のところ11月21日永眠され、互助センター友の会 東十条駅ホールにて26日に通夜が、翌日告別式が営まれた。（享年90歳）

■呉典秀理事のご母堂 呉清子（松田キヨコ）女史が2月16日永眠され、町屋斎場にて22日に通夜が、翌日告別式が営まれた。（享年89歳）

■李俊行会員（青年部部員 李昌明氏ご尊父）が4月永眠された。（享年65歳）

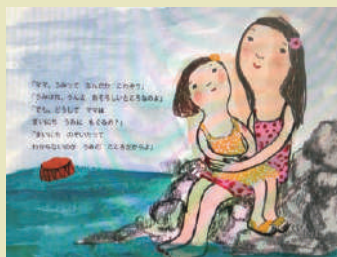
済州道通信



『엄마는 해녀입니다』

『ママとうみのやくそく』として日本で発売

（作：コ・ヒヨン、絵：エヴァ・アルミセン、訳：おおたけ きよみ）



いま、注目を集める韓国の絵本文学。SDGsな世界観—日常と身の回りの自然に、感謝の気持ち溢れる1冊。ユネスコ人類無形遺産にも認定されている済州島のヘニョ（海女さん）。物語の主人公「わたし」の祖母・母も一家代々続く海女さん。

おばあちゃんからママへ、そしてわたしへ。

かつて海を離れたママの想い、そして毎日海に潜り、海に息づく生き物たちをとる暮らしから教えられた「やくそく」とは……？いま身の回りにある自然の豊かさに感謝の気持ちを込めて、母娘で読みたい1冊。

故郷の海女さんへ尊敬の念を込め物語を紡いだのは、ドキュメンタリー映画作家コ・ヒヨン。その思いに共感した、世界で活躍する人気イラストレーター エヴァ・アルミセンが、可愛らしくも力強いタッチで彩りを添えている。

人物交流

2019年

- ・7月24日 第32代新執行部就任表敬訪問で民団東京本部→民団中央本部を訪問した。（高尚弘常任顧問、李相訓会長、高哲明・梁日勲副会長、洪正敏宣伝部長、梁広実組織部長6名）
- ・7月25日 第32代新執行部就任表敬訪問で婦人会東京本部 → 駐日本大韓民国領事館を訪問した。（高尚弘常任顧問、李相訓会長、高哲明副会長、洪龍次郎監査、金帝憲総務次長5名）
- ・9月9日 「第3回定例常任役員会」終了後、午後7時より焼肉肉縁上野店にて「第5回理事・会員の集い」が開催され、高瑋鉉顧問はじめ3名、慎龍九相談役、理事・会員4名、李相訓会長はじめ執行部12名、在日済州婦人会 金貞子会長他2名の総勢23名が参加。食事代は全額呉賛益顧問より賛助。
- ・10月10日 当協会呉賛益顧問の葬儀参列のため来日した禹瑾敏前知事を在外済州道民会総聯合会全秉敦諮問委員が羽田空港まで送迎。また、上野ホテルパークサイドから式場までは高隆博顧問が案内。参列後、済州特別自治道 趙相範局長一行5名、教育庁カン・スンムン政策企画室長他1名、済州大学 李昌益教授、高隆博顧問、李相訓会長はじめ執行部など総勢19名が金太楼寿司で食事。
- ・11月5日 済州MBCドキュメンタリー撮影のため、カメラマン1名が来訪し、高尚弘常任顧問、李相訓会長、宋暎民・韓永紀副会長、金正明青年部長とインタビュー。「第5回定例常任役員会」後、和食極みにて「一般理事の集い」が開催され、玄昌寿理事を交えて執行部16名、済州MBC 2名と全19名参加。済州MBCが行事模様を撮影。

・12月9日 令和はじめの「懇親忘年会」をホテルパークサイドにて開催した。高瑋鉉顧問をはじめ7名と、相談役では金秀吉相談役をはじめ6名、そして李相訓会長をはじめとする執行17名、総勢30名が参加した。まず、10月2日に永眠された当協会の呉賛益顧問に黙祷をささげ、次に、李相訓会長より2019年の協会運営の報告や今後の運営についての話があった。また諸先輩方からも貴重な意見があった。

2020年

- ・1月18日 済州道から元喜龍知事一行23名を羽田空港から、高尚弘常任顧問、宋暎民副会長、金聖宗渉外部長が上野ホテルパークサイドまで案内。済州大学4名、済州MBC 4名が合流し、会場まで案内。
- ・1月19日 元喜龍知事一行31名を李相訓会長、高哲明・宋暎民副会長が東京駅まで歓送。



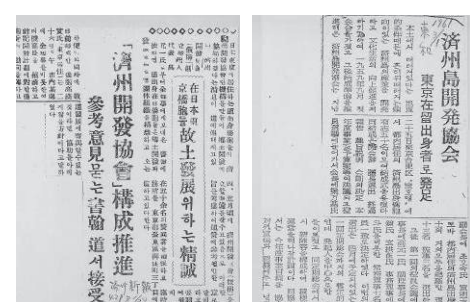
フォトダイジェスト 50年の軌跡

創立に至るまで—「開発協会」創立への動き

協会発足のための発起人会は、1959年9月20日、12名参加し開かれた。会の名称「済州道開発協力会」とし、次の合意をみた。①入会金1万円、会費千円 ②財政が2千万円になれば、財団法人とし、郷土開発のための公益事業に着手する ③済州道に営利事業体を設置し、その利潤を道開発に充てる ④会は政治的問題に関与しない。その後、名称は「済州道開発協会」と決定した。

1961 ● 燃え立つ愛郷心

・創立総会に46名参加、初代会長に梁萬基氏



● 発足当時の済州新聞と東和新聞の報道



● 第1次訪問団 金栄寛知事より道政の説明を聞く



● 5.16道路工事現場を視察する訪問団一行



● 第1次訪問団 済州飛行場にて



● 済州観光ホテル

1962 ● 交流への飛翔

・第2回定期総会で金坪珍新会長を選出
・感動的な第1次郷土訪問団18名を派遣
・五賢高校サッカーチームを招請
・済州商事(株)を設立



● 五賢高校サッカーチーム



● 優勝杯を受け取る五賢高校の選手

1963 ● 往来が活発化

・第3回定期総会で金坪珍会長を再選
・ミカン苗木寄贈運動をスタート
・食糧難に1千ドルを支援
・済州道女性代表親善使節団を招請
・金坪珍会長が文化勲章国民賞を受賞
・第2次郷土訪問団に11名が参加



● 大阪府庁と大阪商工会議所を訪問する一行



● 銚子港を視察する金栄寛知事一行



● 神奈川県庁を訪問



● 久保田農機具工場を視察



● 東京都庁を訪問 韓国人として初めて幸運の鍵を授与される



● 第3回定期総会で金坪珍会長を再選



● 聖フランシスコ子ども寮を視察



● 九段会館で開催された「済州道民のタベ」



● 済州道女性代表親善使節団一行

1964

組織を拡大強化

- ・第4回定期総会で新会長に趙辯訓氏を選出
- ・第3次郷土訪問団は7名
- ・機関誌『漢拏山』創刊



● 産業開発技術研修生一行



● 機関誌『漢拏山』創刊



● 第3次郷土訪問団一行



● 康祐俊済州道知事一行

1965

人材養成の推進

- ・済州道産業開発技術研修生10名が来日
- ・第5回定期総会で趙辯訓会長を再選
- ・康祐俊済州道知事が来日
- ・技術要員3名を追加招請 ・教育視察団が来日



● 新東京電力を視察する技術要員



● 農業視察団一行

1966

農業振興への貢献

- ・第6回定期総会で高元一新会長を選出
- ・視察団が続々と来日
- ・機関誌『漢拏山』第2号発行



● 鄭雨湜済州道知事

1967

知事・市長が来日

- ・鄭雨湜済州道知事が来日
- ・第7回定期総会で韓文鳳新会長を選出
- ・第4次郷土訪問団7名を派遣
- ・済州大学、行政公務員視察団が来日
- ・マイクロバス、ミカン苗木を寄贈
- ・機関誌『漢拏山』3号発行



● 道庁へマイクロバスを寄贈



● 東京都庁を訪問する行政公務員



● 青年部長に姜仁煥氏を選出

1968

奨学事業を支援

- ・第8回定期総会で役員任期を2年に
- ・「ミカンの済州を築こう」が合言葉に
- ・青年部を設置 ・金泰泰北済州郡守が来日
- ・第5次郷土訪問団9名を派遣
- ・済州道養鶏組合などの視察団が来日



● 金泰泰北済州郡守が来日



● 第5次郷土訪問団



● 具滋春済州道知事が来日

1969

ミカン栽培を積極推進

- ・具滋春済州道知事が来日
- ・第9回定期総会で高瑋準新会長を選出（2年任期）
- ・「済州道奨学会」を創設
- ・乗用バス、編物機を寄贈
- ・『協会ニュース』を発刊
- ・金漢駿済州市長が来日



● 済州道奨学会 第1回理事会

1970

創立10周年記念行事を開く

- ・機関誌『漢拏山』第4号発行
- ・権容湜道知事、産業視察団が来日
- ・済州道の風水害などに積極的に救援

済州島へ—郷土訪問あいつづ

1971 ● 済州道一周道路舗装が完工

- ・第11回定期総会で玄拱洙新会長を選出
- ・済州商事10周年記念式典
- ・青年部の活動が活発化
- ・第6次郷土訪問団16名を派遣
- ・農機具や防風林寄贈を斡旋
- ・寄贈と交流を積極推進
- ・済州道一周道路舗装が完工



● 道庁のグラウンドに並べられたミカン苗木



● 機関誌『漢拏山』第4号発行



● 青年部の海水浴



● ミカン栽培技術者を派遣



● 創立10周年記念式典



● 権容堤知事来日



● 念願の済州道一周道路の舗装工事が完了



● 第2回駅伝マラソン

1972 ● セマウル運動を支援

- ・第12回定期総会で対内事業強化を決議
- ・駅伝大会を共催し、第7次郷土訪問団18名を派遣
- ・防風林の苗木を寄贈 ・農機具寄贈を斡旋
- ・第2次技術研修生13名を招請

1973 ● 岩手支部が誕生

- ・第13回定期総会で新会長に金坪珍氏を選出
- ・岩手支部が誕生
- ・青年部でボウリング大会、海水浴を実施
- ・第8次郷土訪問団に26名が参加
- ・済州道新聞記者視察団が来日
- ・ミカン栽培視察団が来日
- ・園芸栽培技術研修生を招請



● 防風林とミカンの新品種を寄贈



● 青年部 伊東の塩吹場で海水浴



● 第2次技術研修生



● 岩手支部の創立総会



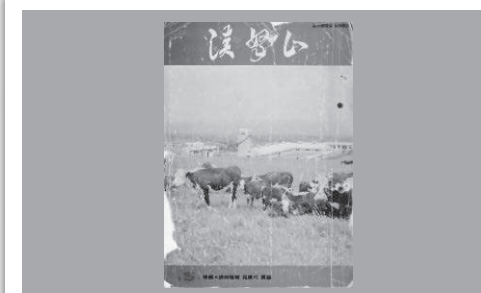
● 第8次郷土訪問団



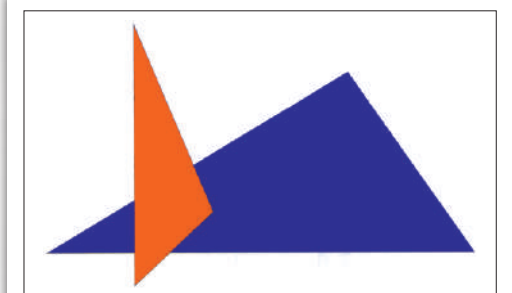
● 園芸技術研修生 埼玉県園芸試験場にて

1974 ● チャーター機で大型訪問団

- ・協会旗を決定
- ・機関誌『漢拏山』第5号発行
- ・特別チャーター機で第9次郷土訪問団115名を派遣
- ・ミカン苗木・農機具寄贈を斡旋



● 機関誌『漢拏山』第5号発行



● 協会の旗

1975 ● 解放30周年記念郷土訪問団

- ・第15回定期総会で金昶輝新会長を選出
- ・直行便で第10次郷土訪問団122名が済州へ
- ・ミカン苗木寄贈事業に終止符



● 済州道新聞記者視察団一行



● 第9次郷土訪問団



● 第15回定期総会で新会長に金昶輝氏を選出

1976 ● 秋夕省墓団を派遣

- ・第1回家族同伴新年会
- ・青年部、1泊海水浴で講演会を開く
- ・機関誌『漢拏山』第6号発行
- ・第11次郷土訪問団36名を派遣
- ・初の青年秋夕墓参団を派遣



● 機関誌『漢拏山』第6号発行



● 第1回家族同伴新年会



● 第11次郷土訪問団

1977 ● 済州道から相次いで来日

- ・第17回定期総会で新会長に高尚秀氏を選出
- ・第12次郷土訪問団を派遣
- ・張日勲道知事が来日
- ・済州道産業視察団を招請



● 張日勲道知事が来日

1978 ● 郷土夏季学校が開始

- ・第3回家族同伴新年会
- ・第18回定期総会
- ・第13次郷土訪問団チャーター便で144名参加
- ・在京済州道民会一行が来訪
- ・教育視察団が来日
- ・第1回郷土夏季学校



● 第17回定期総会で新会長に高尚秀氏を選出



● 済州道産業視察団



● 第19回定期総会で高瑋鉉新会長を選出



● 第1回郷土夏季学校



● 済州道農業技術研修生が来日

1979 ● 2世が郷土で学習

- ・第19回定期総会で高瑋鉉新会長を選出
- ・第14次郷土訪問団 ・第2回郷土夏季学校
- ・済州道農業技術研修生が来日



● 第2回郷土夏季学校

1980 ● 創立20周年事業を決定

- ・第20回定期総会で20周年事業を決定
- ・理事親睦旅行会を開く

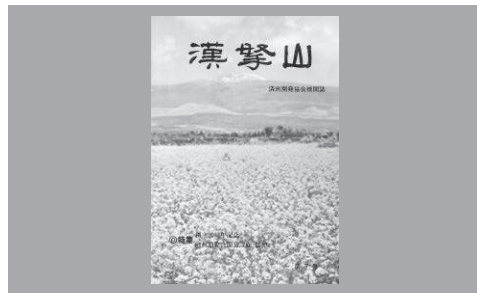


● 第20回定期総会

東京—済州直行定期便開通へ

1981 ● 創立20周年記念式典

- ・創立20周年記念式典を開く
- ・機関誌『漢拏山』第7号発行
- ・第21回定期総会で金栄洪新会長を選出
- ・第15次郷土訪問団 ・第3回夏季郷土学校



● 機関誌『漢拏山』第7号発行



● 創立20周年記念式典



● 第21回定期総会で金栄洪新会長を選出

1982 ● 崔在栄道知事が来日

- ・崔在栄道知事を招請



● 崔在栄道知事が来日



● 第23回定期総会で新会長に高昌運氏選出

1983 ● 第4回夏季学校開く

- ・第23回定期総会で高昌運新会長を選出
- ・第16次郷土訪問団135名を派遣
- ・崔在栄道知事が来日
- ・『済州開発協会新報』を新規発行



● 全国少年体育大会時に建築された愛郷運動場

1984 ● 第13回全国少年体育大会

- ・臨時総会で会長に金昶輝氏を選出
- ・第13回全国少年体育大会開かれる
- ・玄平孝済州大学長が来日
- ・直行定期航路開設を陳情



● 直行定期航路開設を陳情

1985 ● 東京—済州航空路線が開通

- ・第25回定期総会で姜京俊新会長を選出
- ・蔣炳九道知事が来日
- ・東京—済州間定期直行航路が開通
- ・農業視察団が来日 ・KBS取材班が来日

1986 ● 金斗熙済州大学総長が来日

- ・青年部が講演会「済州開発協会の歴史」を開く
- ・金斗熙済州大総長が来日



● 第25回定期総会で姜京俊新会長を選出



● 農業視察団が来日

1987 ● 水害救援金500万ウォンを済州道へ寄託

- ・留学生と野遊会開く
- ・水害救援金を寄託
- ・第27回定期総会で高河允新会長を選出
- ・柑橘産業視察団が来日



● 青年部講演会



● 1987年家族同伴新年会



● 第27回定期総会で新会長に高河允氏を選出

1988 ● ソウルオリンピックに沸く

- ・ソウルオリンピック記念植樹
- ・技術研修生を招請



● ソウルオリンピック記念植樹

1989 ● 世代交代大幅にすすむ

- ・第29回定期総会で高章守新会長を選出
- ・李君普道知事が来日
- ・農業研修団が来日
- ・青年部と留学生が交流会を開く

1990 ● 創立30周年に向けて

- ・理事親睦旅行会開催
- ・玄敬大民主平和統一諮問会議事務総長来訪
- ・第30回定期総会開催



● 李君普道知事が来日

「在日本済州道民協会」に改称

1991 ● 創立30周年記念式典挙行

- ・30周年記念誌『愛郷無限』発行
- ・第31回定期総会で李時香新会長を選出
- ・済州道警察庁視察団来訪
- ・済友会ゴルフコンペ第1回開催



● 第30回定期総会



● 1990年家族同伴新年会



● 創立30周年記念式典来賓



● 創立30周年記念式典



● 30周年記念誌「愛郷無限」発行



● 創立30周年記念式典顧問団



● 第8回夏季郷土学校

1992 ● 開発から親睦へ

- ・「在日本済州道民協会」に改称
- ・済州道北郡議会議員団と懇談会
- ・済州道農民教育院関係者一行来訪



● 第32回定期総会

1993 ● 青年部育成と組織拡大

- ・第33回定期総会で夫昇培新会長選出
- ・在京済州道出身親睦団体と懇親会
- ・済州道議会日本視察団、道観光広報団来訪



● 1993年家族同伴新年会



● 済州道議会日本視察団訪日懇談会



● 禹瑾敏済州道知事歓迎会兼懇談会



● 第9回夏季郷土学校



● 辺精一国会議員来訪

1994 ● 在外道民会との交流事業推進

- ・済州道特産品展示販売会盛況
- ・家族同伴新年会・成人式に450名集う
- ・済州道投資説明会開かれる



● 済州道特産品東京展示販売会



● 1994年家族同伴新年会



● 済州道民間資本誘致団一行

1995 信頼・協力・奉仕を掲げ

- ・第35回定期総会で金和男新会長選出
- ・金太智駐日大使歓迎会開く
- ・在日コリア青年祝祭に出展
- ・慎久範済州道知事歓迎会開く



● 慎久範済州道知事歓迎会



● 1995年家族同伴新年会新成人たち



● 済州道会議議長一行歓迎会



● 理事旅行会



● 第11回夏季郷土学校



● 在日済州道婦人会設立総会（円内は韓道淑婦人会初代会長）

1996 済州道の国際観光・交流の増進

- ・済州道観光協会代表团日本各地で広報活動
- ・済州市立交響楽団僑民慰問演奏会
- ・第30回道民体育大会でゴルフ在日東京チーム優勝



● コンベンションセンター建立投資説明会

1997 在日済州婦人会創立

- ・第37回定期総会で李淳元新会長選出
- ・済州婦人会初代会長に韓道淑氏
- ・親睦・結婚問題を積極的に推進



● 1997年家族同伴新年会

1998 顧問、相談役に相次ぎ国民勲章授章

- ・禹瑾敏道知事一行訪日歓迎晩餐会開催
- ・『済州道民協会ニュース』新規発行
- ・済州大学趙文富総長来訪



● 永六輔氏講演会



● 1998年家族同伴新年会



● 金坪珍顧問が済州大学名誉博士号を授与

1999 婦人会活動活発に展開

- ・第39回定期総会で李徳雄新会長選出
- ・婦人会「ブライダルパーティ」開催
- ・高齢者故郷訪問事業に12名参加



● 1999年家族同伴新年会・成人式



● 1999年ゴルフコンペ



● 第13回夏季郷土学校



● 1999年婦人会ブライダルパーティ

2000 世代交代すすむ

- ・第40回定期総会で40周年記念行事等決議
- ・2002年済州ワールドカップ説明会開催



● 第40回定期総会

新世紀—2002ワールドカップ韓日共催

2001 ● 創立40周年記念式典を盛大に挙行

- ・漢拏山第8号40周年記念号発行
- ・第41回定期総会で李英秀第23代会長選出
- ・W杯支援金伝達、済州ワールドカップ競技場開場式参加
- ・第15回夏季郷土学校
- ・漢拏山第8号40周年記念号発行



● 北済州郡守一行歓迎会



● 2000年家族同伴新年会・成人式



● 2000年家族同伴新年会・成人式



● 2002年済州ワールドカップ説明会



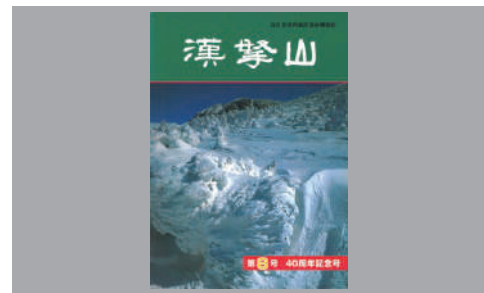
● 婦人会日帰りバス旅行



● 第40期執行部



● 創立40周年記念式典・2001家族同伴新年会・成人式



● 漢拏山第8号40周年記念号発行



● 第15回夏季郷土学校

2002 ● 新法人「(株)済京」設立

- ・2002年家族同伴新年会・成人式開催
- ・済州—東京・成田直行便就航
- ・済州ワールドカップ競技場見学
- ・婦人会第3回料理講習会、韓道淑会長を講師に開催
- ・第42回定期総会開催
- ・新法人「株式会社済京」設立



● 金英秀会長挨拶



● 済州ワールドカップ競技場



● 済州—成田直行便就航



● 済州ワールドカップ競技場見学



● 第5回故郷訪問事業実施



● 婦人会香港親睦旅行実施



● 第16回夏季郷土学校

2003 ● 呉賛益会長体制出帆・会館購入

- ・第43回定期総会で第24代会長に呉賛益氏選出
- ・「済州4・3事件」55周年追悼マダン劇「漢拏の慟哭」観劇
- ・婦人会第7回定期総会にて呉春花新会長選出
- ・「済州国際自由と在外済州道民会の役割セミナー」で講演
- ・会館（K・S・K（済京）ビル）購入



● 第43回定期総会第24代会長・呉賛益体制出帆

2004



● 第17回夏季郷土学校



● 第7回故郷訪問事業実施



● 会館（K・S・K（済京）ビル）購入



● 婦人会第7回定期総会呉春花新会長選出

事務所購入・移転

- ・2004年家族同伴新年会・成人式開催
- ・協会事務所を文京区湯島へ移転
- ・K・S・K（済京）ビル会館披露式典挙行
- ・第8回故郷訪問事業実施、60歳以上在日済州出身同胞対象に
- ・第3回在外済州道民会役員郷土学校参加
- ・青年部講演会開催
- ・第4回在京道民会親睦ゴルフ大会



● 2004年3月、協会事務所移転



● 2004年家族同伴新年会・成人式開催



● 第4回在京道民会親睦ゴルフ大会



● K・S・K（済京）ビル会館披露式典



● 青年部講演会

2005

「在日本関東済州道民協会」に改称

- ・2005年家族同伴新年会・成人式
- ・第45回定期総会で第25代会長に鄭平普氏選出
- ・愛知EXPO「済州道週間」呉賛益会長が祝辞
- ・済友会、記念すべき第101回ゴルフコンペ済州にて開催
- ・第1回関東・関西済州道民協会役員懇親会開催
- ・「済州道模範警察海外研修」東京での研修に協力



● 2005年家族同伴新年会・成人式呉賛益会長挨拶



● 愛知EXPO「済州道週間—ウィークイベント」



● 第45回定期総会、鄭平普新会長選出



● 済友会第101回記念ゴルフコンペ



● 済州国際自由都市開発センター長一行来日

2006

協会会員章・済友会会員章 作成

- ・済州4・3犠牲者慰霊祭、盧武鉉大統領が政府正式謝罪
- ・第7代在外済州道民会総聯合会会長に呉賛益常任顧問就任
- ・第46回定期総会開催
- ・第20回夏季郷土学校開催
- ・婦人会第10回定期総会・創立10周年記念式典挙行
- ・協会会員章、地球×済州道×本会をイメージして作成
- ・済友会会員章作成



● 済州4・3犠牲者慰霊祭、盧武鉉大統領が政府正式謝罪



● 会員章作成、地球×済州道×本会をイメージ



● 2006年家族同伴新年会・成人式 鄭平普会長挨拶

2001~2011

2007

水害救援金200万円を済州道へ寄託 済州島、ユネスコ世界自然遺産認定

- ・2007年家族同伴新年会・成人式に500名参加
- ・第47回定期総会で高尚弘第26代会長選出
- ・第6回在外道民会役員郷土学校開催
- ・第11回故郷訪問事業実施
- ・婦人会第6代会長に金貞子氏選出
- ・済州道台風ナリ被害の復興の為、災害支援金募金200万円伝達



● 2007年家族同伴新年会・成人式金泰煥知事挨拶



● 青年部総会、新生青年部再スタート



● 第47回定期総会で高尚弘第26代会長選出



● 済州道台風ナリ被害の復興の為、災害支援金募金200万伝達



● トルハルバン、人形町へ現れる



● 婦人会10周年記念式典で呉春花会長あいさつ



● 第2回関東・関西済州道民協会役員懇親会を済州道で開催



● 在外済州道民会総聯合会第7代会長に呉賛益常任顧問就任



● 済友会会員章、好評

2008

最後の第12回故郷訪問事業実施

- ・2008年家族同伴新年会・成人式
- ・第4回関東・関西済州道民協会役員懇親会
- ・箱根にて親睦旅行、理事・会員・婦人会参加
- ・在外済州道民会総聯合会臨時総会および新旧会長離就任式



● 第48回定期総会開催



● 第4回関東・関西済州道民協会役員懇親会



● 第60周年4・3慰霊祭に参加



● 第7回在外道民会役員郷土学校参加



● 最後の第12回故郷訪問事業実施



● 婦人会親睦旅行



● 2008年家族同伴新年会・成人式



● 第11回故郷訪問事業実施



● 第6回在外道民会役員郷土学校開催

2009 ● 創立50周年に向け高尚弘会長再任

- ・第49回定期総会において高尚弘会長再任。
- ・青年部済州道旅行実施で、耽羅文化祭参加、関西済州道民協会青年会・連合会と交流
- ・初在日同胞子女高校生招待済州文化体験事業
- ・第1回グローバル済州商工人大会参加
- ・婦人会、第13回定期総会で左玉花新会長就任
- ・「金萬徳ナナム（分かち合い）お米萬俵積み運動」に50万円伝達



● 第49回定期総会開催



● 第1回グローバル済州商工人大会参加



● (財)金萬徳事業説明会



● 2009年家族同伴新年会・成人式開催



● 初在日同胞子女高校生招待済州文化体験事業



● 婦人会第7代会長に左玉花氏就任



● 第50回定期総会開催



● 2010年家族同伴新年会・成人式開催

2010 ● 第50回定期総会、50周年記念事業決定

- ・2010年家族同伴新年会・成人式開催
- ・第50回定期総会、50周年記念事業
①記念式典開催 ②記念誌発行推進
- ・済州商工会議所、会長他グローバル済州商工人大会組織委員会一行来日
- ・第44回済州特別自治道民体育大会に参加
- ・婦人会日帰り旅行実施

2011 ● 創立50周年記念式典 盛大に挙行



● 第44回済州道民体育大会に参加



● 済州商工会役員と協会役員



● 役員一同新年挨拶



● 祝賀会で呉賛益常任顧問の乾杯音頭

済州・新世界七不思議自然版選定・日本地域推進委員会発会式

- ・委員長に呉賛益常任顧問就任



● 日本地域推進委員長に呉賛益常任顧問就任



● 広報大使に格闘家秋山成勲氏



● テープカッティング



● コリアニュース 2011年2月25日記事

在日本関東済州道民協会 理事名簿

◆文京区	高 瑋 鉉 金 成 日	金 和 男 李 相 訓	金 用 實 韓 永 紀	吳 益 鐘 朴 永 鎮	金 帝 憲
◆台東区	金 奉 任 金 哲 祥	夫 奉 秋 鄭 禎 憲	朴 時 男	宋 暎 民	
◆足立区	李 大 浩	吳 典 秀	洪 龍次郎	洪 正 敏	
◆荒川区	金 秀 吉	金 昌 世	金 昌 浩	金 聖 宗	
◆豊島区	姜 丞 宝	高 尚 弘			
◆大田区	梁 直 基				
◆葛飾区	梁 広 実	康 藏 哲			
◆目黒区	金 光 一				
◆港区	夫 昇 培				
◆世田谷区	高 隆 博				
◆新宿区	李 京 旻				
◆渋谷区	吳 敬 進	金 元 伸			
◆中野区	高 富 仁				
◆杉並区	安 英 富				
◆江東区	高 仁 秀	金 建 夫			
◆江戸川区	韓 在 銀				
◆武蔵野市	高 章 守				
◆千葉県	李 德 雄 吳 哲 新	宋 信 彦 河 尚 利	吳 仁 敦	高 誠 彦	
◆埼玉県	鄭 平 普	慎 龍 九	梁 日 勲	慎 正 哲	
◆神奈川県	金 修 一	高 聖 哲			
◆長野県	金 英 秀				

(2022年7月1日現在)

在日本関東済州道民協会 規 約

第1章 名称と事務所

- 第1条 (名 称)
本会是在日本関東済州特別自治道民協会と称す。
- 第2条 (事 務 所)
本会の事務所は東京都文京区湯島3丁目19番5号に置く。

第2章 目的並び事業内容

- 第3条 (目 的)
本会ならびに婦人会は会員相互の親睦と日本に於ける生活基盤の安定と社会的地位の向上をはかり、済州道との関係を緊密にし、郷土の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 (事業目的)
本会は前条目的を達成するため、次の事業を行う。
- 1 会員の相互親睦と社会的地位の向上をはかるための各種事業を行う。
 - 2 済州道との連帯促進の事業及び在外道民会との交流を深める事業
 - 3 青年部の育成事業
 - 4 協会ニュース発行事業
 - 5 その他、目的達成に必要な事業

第3章 会 員

- 第5条 (会員構成)

本会は関東地域に在住する在日済州道出身同胞（韓国籍・帰化した方）であり、本会の目的及び事業に賛同するものをもって構成する。

- 第6条 (入会手続)
本会に入会を希望する者は、会員の推薦により所定の入会手続を経て、常任役員会の承認を受けて加入する。
- 第7条 (会員の義務)
1 会員は所定の会費を納入しなければならない。
2 会員は規約及び総会、理事会の決議を遵守しなければならない。
- 第8条 (脱 会)
会員は本人の申し出により任意脱会することができる。
- 第9条 (除 名)
1 会員が本会の名誉を傷つけるか、または会員としての義務を怠った場合には常任役員会の決議を経て、会長がこれを除名することができる。

第4章 役員および理事

- 第10条 (役員の定数)
本会に次の役員を置く。
会長1名、副会長若干名、部長・次長若干名、監事 若干名
- 第11条 (会長、副会長、選任方法と権限)
1 会長は常任役員会の推薦を受け、顧問団に諮り、総会で選任する。
但し、大韓民国在外国民登録を完了

在日本関東済州道民協会 規 約

したものに限る。

会長は本会を代表統括し、総会を招集する。

2 会長は会務執行の責任者であり、理事会を招集し、その議長となる。

3 副会長は会長の推薦を受け、総会で選任する。

副会長は会長を補佐し、会長に事故が起きたときは、顧問及び副会長の合議により、副会長の中から推薦された者がその職務を代行する。（但し、3ヶ月以内に臨時総会を招集し、会長を選任する）

第 12 条（理事の構成と選任方法）

1 理事は50名以上で構成する。

2 理事は2名以上の理事の推薦により、随時選任することができ、総会において事後承認を受ける。

第 13 条（監事選任方法と権限）

監事は総会で選任する。

監事は本会の財産状況及び業務の執行状況を監査し、総会でこれを報告する。

第 14 条（役員の任期）

1 会長をはじめとする役員の任期は2年とする。

2 補選された役員の任期は前任者の残余期間とする。

第 15 条（理事・役員の解任）

1 会長は総会の決議により、またその他の役員は、その選任機関の決議によって解任することができる。

2 理事の解任は、理事会の決議を経

て、会長がこれを解任することができるが、次期総会において事後承認を得なければならない。

3 年間理事費を2年以上納入しなかった理事は、理事職を自動的に解任されたものと見なす。

第 16 条（顧問、相談役）

本会に常任顧問、顧問、相談役を若干名置くことができる。

1 顧問、相談役は会長が推薦し、総会で承認を得る。

顧問、相談役は会長の諮問に応じ、本会各会議に参加して意見を述べるることができる。

2 顧問、相談役の任期は役員と同一である。

第5章 会 議

第 17 条（会 議）

本会の会議は総会（定期総会、臨時総会）、理事会、常任役員会とする。

第 18 条（総会の招集）

1 総会は毎年6月から7月の間に招集する。

2 臨時総会は次の場合招集する。

イ、会長が必要ありと認めたとき。

ロ、理事会が決議したとき。

ハ、会員総数の3分の1以上が、総会に建議すべき事項と理由を示して要求したとき。

3 総会の招集は、招集日の15日前まで

に、各会員に総会の建議事項、日時、場所を通知しなければならない。

第 19 条（総会の成立、議決）

1 総会は会員総数の過半数以上の出席または、委任状の提出をもって成立する。

2 総会の議決は出席会員の過半数をもってこれを決し、可否同数の場合は議長の裁決に従う。

3 規約変更の決議は、会員の過半数以上の賛同（委任状を含む）を必要とする。

第 20 条（議事録）

総会議事録は、議長及び総会出席会員の2名以上が署名捺印し、これを本会に保管する。

第 21 条（総会に建議する事項）

次の事項は、総会に建議しなければならない。

一、規約の変更

一、役員の任免

一、事業報告及び収支決算報告

一、事業計画及び収支予算案

一、その他必要な事項

第 22 条（理事会の招集、成立、議決）

1 理事会は次の場合に招集される。

イ、会長が必要ありと認めたとき。

ロ、常任役員会が決議したとき。

ハ、理事の3分の1以上の要求があったとき。

2 理事会は理事の過半数の出席をもって成立し、決議は出席理事の過半数をもって決定する。

第 23 条（理事会に建議する事項）

理事会は本会の運営上、重要な基本事項及び、次の事項を審議決定する。

一、総会に提出する議案

一、会務執行方針

一、その他、会長が建議する事項

第 24 条（常任役員会）

1 常任役員会は常任顧問、会長、副会長、各部署の部長・次長によって構成され、原則として月1回行うものとする。

2 常任役員会は本会の運営上、緊急事項及び理事会決議事項の執行に関して審議決定する。

第6章 部署と分科委員会

第 25 条（部 署）

一、総務部 一、財政部

一、組織部 一、宣伝部

一、渉外部 一、事業部

一、国際部

一、青年部（但し、必要に応じ各部署に次長を置くことができる）

第 26 条（分科委員会）

本会の目的を達成するために、専門分科委員会を置くことができる。

第 27 条（婦人会）

本会には婦人会を設置する。

1 名称を在日済州婦人会とする。

2 婦人会は、婦人会の総意による会則を定める。

在日本関東済州道民協会 規 約

第7章 財産と会計

- 第 28 条**（会計年度）
本会の会計年度は毎年 6 月 1 日に始まり、翌年 5 月 31 日に終了する。
- 第 29 条**（財産）
本会の財産は次の各号からなる。
一、財産目録の財産
一、会 費
一、賛助金
一、会員及び有志の寄附金
一、事業に依る収入
一、財産から生じる収益
一、その他収入
- 第 30 条**（特別会計）
本会は必要に応じ役員会の決議を経て、特別会計を設定することができる。
- 第 31 条**（財産管理及び運営）
本会の財産管理及び運営に関する基本方針は総会において決定し、細則は理事会において決定する。

第8章 解散並び精算

- 第 32 条**（解 散）
本会は総会の決議によって解散する。
- 第 33 条**（精 算）
本会解散の時は総会において清算人若干名を選任し、精算期限を指定しなければならない。

第9章 附 則

- 第 34 条**（施 行）
本規約の施行に必要な細則は理事会において決定する。
- 第 35 条**（施行期日）
本規約は西紀1963年 2 月26日、第 3 回定期総会で採択された日より始まり、以後、以下の定期総会にて改定された。
西紀1968年 2 月24日（第 8 回定期総会）
西紀1985年 7 月 6 日（第25回定期総会）
西紀1992年 7 月 4 日（第32回定期総会）
西紀2008年6月21日（第48回定期総会）

株式会社 済京は協会会員の、会員による、会員の為の会社です 共に歩んでまいります



協会会館 KSKビル



株式会社 済 京
在日本関東済州道民協会 事務局
在日済州婦人会



代表取締役 李 相訓

株式会社 済 京

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-19-5

TEL 03-5688-0684 FAX 03-3835-7756

高山商事株式会社

会長 高 瑋 鉉

在日本関東济州道民協会 顧問
一般社団法人在日韓国商工会議所 顧問
東京韓国商工会議所 常任顧問



〒150-0022
東京都渋谷区恵比寿南 2-19-7 VOLT 恵比寿Dual's 403
TEL 03-6451-2988 FAX 03-6451-2989



金海商事株式会社

代表取締役 金 和 男

社) 在日韓国人本国投資協会 会長
在日本関東济州道民協会 顧問
在日世界韓人商工人連合会 顧問
学校法人济州女子学園 理事長



〒110-0005 東京都台東区上野 2-1-3
TEL 03-3832-3341 FAX 03-3839-2257



SR サ・ロイヤル

快適な空間をご提供します。



サン・ロイヤル川崎

サン・ロイヤル小山

サン・ロイヤル宇都宮

サンロイヤルホテルグループは、アットホームな安らぎホテル。手作りの無料朝食バイキングで一日の活力を！
チェックアウトは12時。
全室ネット接続可でビジネス&観光に最適です！

ホテルサン・ロイヤルグループ <http://hotel-sunroyal.jp>

サン・ロイヤル川崎 〒210-0001 神奈川県川崎市川崎区本町 1-5-11 TEL 044-244-3711 / FAX 044-245-0631
サン・ロイヤル小山 〒323-0022 栃木県小山市駅東通り 1-24-20 TEL 0285-24-7111 / FAX 0285-24-7110
サン・ロイヤル宇都宮 〒321-0963 栃木県宇都宮市南大通り 4-7-8 TEL 028-638-3711 / FAX 028-638-3710
本社：宝興業株式会社 代表取締役 李相訓 東京都千代田区神田佐久間町 3-29 BSR 2F

人と環境の美しい明日を創る・・・

ビルメンテナンス／電気設備・内装工事は
キャリーマインドにご用命ください

当社は、オフィスビル・商業施設・物流倉庫等幅広い建物のビルメンテナンス、設備管理、衛生管理までトータルな建物管理サービスを提供しています。

■環境衛生管理

●清掃管理業務

日常清掃

定期清掃（床／ガラス／空調機／照明／外壁）

ハウスクリーニング他

●衛生管理業務

給排水管理

（貯水槽・汚水槽清掃／水質検査／排水管洗浄）

空気環境測定

害虫駆除



■設備管理

●電気／空調／給排水／消防／エレベーター設備

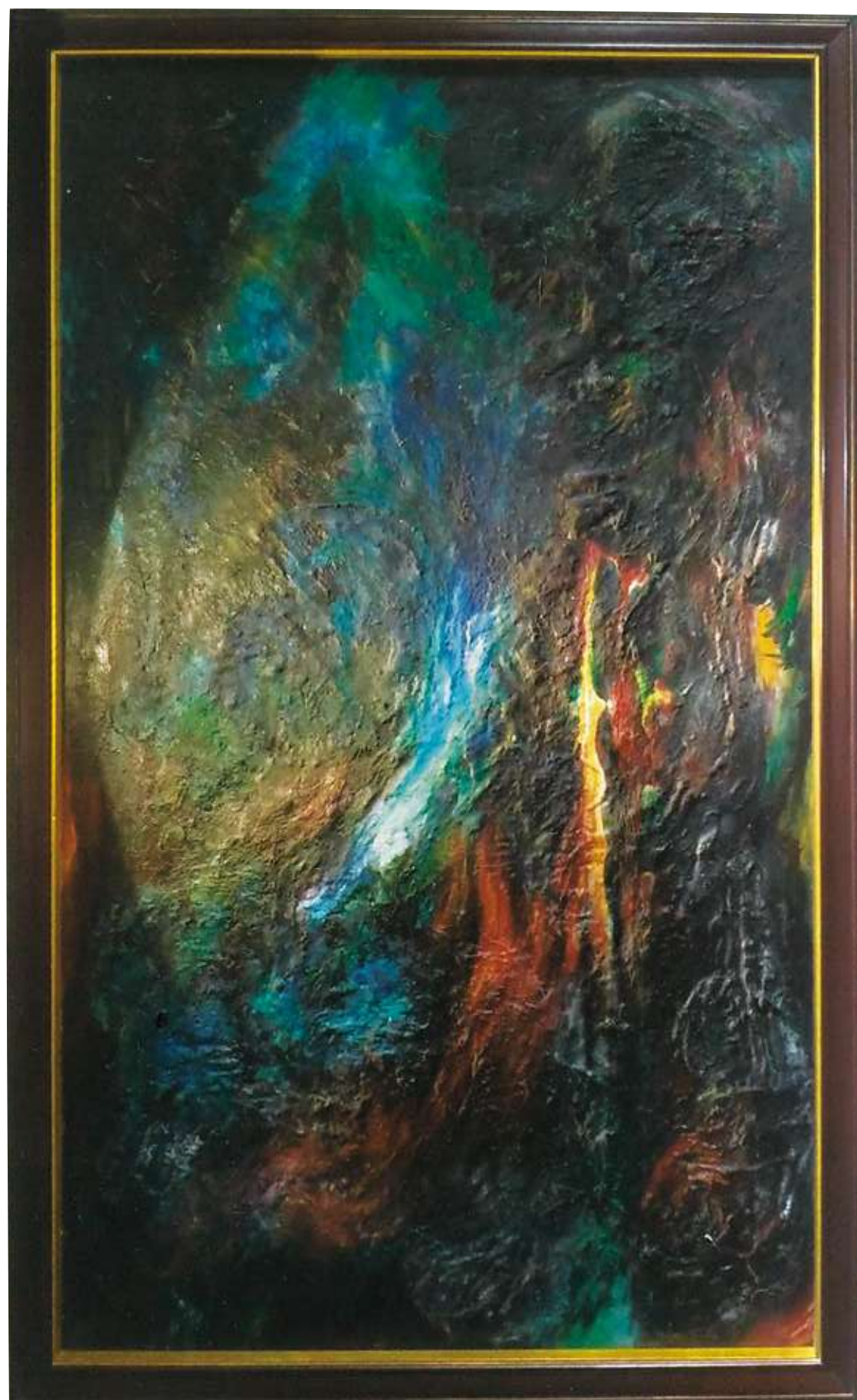
■電気設備工事・空調管設備工事

■内装工事

株式会社キャリーマインド

代表取締役 梁 川 勲（梁 日勲）

〒111-0036 東京都台東区松が谷 1-1-1 松が谷 213ビル 6階
Tel.03-6802-6790 Fax.03-6802-6791
<http://www.carry-mind.co.jp>



葉山の夕暮れ 油彩 1977.4 作画 金修一

在日本関東済州道民協会 相談役 金修一

大栄産業株式会社

代表取締役社長 慎龍九

在日本関東済州道民協会
東京韓国商工会議所

相談役
顧問



本社工場
〒332-0031
埼玉県川口市青木 1-14-12
TEL 048-257-6770 FAX 048-257-0410



信 栄 商 事 株 式 会 社

代表取締役社長 宋 信 彦

在日本関東済州道民協会

相 談 役



〒273-0005

千葉県船橋市本町 2-11-32

TEL 047-434-7551 FAX 047-431-7870



うしくろ 検索

創業50年

うしくろ

希少部位、黒毛和牛の雌牛専門店



当店は 感染予防対策実施店 です！

【東小松川店】江戸川区東小松川1-9-13/TEL：03-3654-8929 ご予約・お問い合わせ
 【菊川店】墨田区菊川1-10-2 1F/TEL：03-3631-9987
 【千駄木店】文京区千駄木2-42-1/TEL：03-3823-1433
 【瑞江店】江戸川区南篠崎3-7-15/TEL：03-6638-8929
 【西葛西店】江戸川区西葛西5-1-3 2F/TEL：03-6456-0484
 【東陽町店】江東区東陽3-24-19/TEL：03-6666-3456
 【亀戸店】江東区亀戸3-61-22/TEL：03-5875-0129



株式会社サンエイフーズ
 【HP】<http://ushiqro.com/>





AmenityUrban Space
MIHAMA
GROUP

株式会社 美 浜

代表取締役 呉 陽 新

〒110-0016 東京都台東区台東3-16-5 ミハマビル10階
TEL (03) 3835-7755 FAX (03) 3835-7756
<http://www.mihama.info>

株式会社 三 新 株式会社 三 商
株式会社 三 光 株式会社 賛

代表取締役 呉 哲 新

祝 創立 60 周年

株 式 会 社

王 子 百 貨 店



創立60周年おめでとうございます 在日済州婦人会も25周年を迎えました



常任顧問	呉春花 左玉花 金夏子 金貞子
相談役	康仁順 金孝淑
会長	趙年子
副会長	金久美子 玄英子
総務部長	李仁秀 総務次長 洪安子
財務部長	韓連淑 財務次長 金善子
文化部長	高貞子
監査	金泰子 康春花



在日済州婦人会はこれからも 在日本関東済州道民協会と共に歩んで参ります



夢、
そして未来へ・・・
あなたの明日を応援します。

東日本1都1道7県を結ぶ、 あすか信用組合のネットワーク

お申し込み・お問い合わせは、お近くの本・支店へどうぞ。

あすか信用組合店舗一覧

本店営業部	☎03-3208-5101
上野支店	☎03-3832-5141
恵比寿支店	☎03-5798-2551
立川支店	☎042-522-5131
錦糸町支店	☎03-6756-8421
池袋支店	☎03-3983-5241
足立支店	☎03-3849-5111
蒲田支店	☎03-3733-5101
大宮支店	☎048-638-3540
仙台支店	☎022-221-3361
札幌支店	☎011-521-0131
青森支店	☎017-777-1448
秋田支店	☎018-833-5111
盛岡支店	☎019-635-9100
郡山支店	☎024-922-7200
融資営業部	☎03-3208-5132
国際営業部	☎03-3208-5108
メールオーダー専用店舗 (あおば支店)	☎0120-432-830



あすか信用組合

理事長 金 哲也

<https://www.asuka-c.jp>



隆美観光株式会社 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-8-15
ホテル事業 Tel 03 (3208) 7411 Fax 03 (3208) 7415
株式会社ベック 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-8-12 BEC ビル
不動産賃貸業 Tel 03 (3200) 8501 Fax 03 (3200) 8510
株式会社リンクス 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 22-20-203
不動産仲介業 Tel 03 (5456) 5755 Fax 03 (5456) 5756
東京都知事 (3) 第 88965 号

代表取締役 高 隆 博



在日本関東济州道民協会 顧 問

在日本大韓民国民団東京新宿支部 常任顧問

在日本大韓民国民団東京本部 副 団 長

創業70周年

丸 金 化 学 株 式 会 社
株式会社 MKコーティング
有限会社 タ イ ガ ー

取締役会長 金 昌 世

在日本関東济州道民協会 相 談 役

代表取締役 金島 政俊

〒116-0001 東京都荒川区町屋 1-36-13
TEL 03-3895-7111~3 FAX 03-3895-7110

株 式 会 社 イ ン テ イ

代表取締役会長 高 富 仁

在日本関東济州道民協会 相 談 役

在日本大韓民国民団中央本部 顧 問

取 締 役 高田 洸希

〒160-0023
東京都新宿区西新宿 8-5-4
TEL 03-6908-6820 FAX 03-6908-6821

株 式 会 社 ト キ オ

代表取締役 朴 時 男

在日本関東济州道民協会 相 談 役

東京韓国商工会議所 常任理事



〒110-0008
東京都台東区池之端 2-7-15-1202
TEL 03-5809-3051 FAX 03-5809-3052



純豆腐 田舎家

시골집

代表 左玉花

在日済州婦人会 常任顧問

在日本韓国民団港支部敬老会 会長

〒106-0045 東京都港区麻布十番 4-4-1-1F

TEL & FAX 03-3451-3388

麻布十番駅 2 番出口出てすぐ目の前！



炭火焼肉 海山

代表 宋暎民

(在日本関東済州道民協会 副会長)

〒110-0005 東京都台東区上野2-3-10

TEL 03(3836)5566(代) FAX 03(3836)5565

— 各種ご宴会承ります —

株式会社 ダイムラー

代表取締役 趙年子

在日済州婦人会 会長
在日本韓国民団足立支部婦人会 常任顧問



赤坂本店 東京都港区赤坂 3-16-4DMK ビル 2F

TEL・FAX 03-3589-2389

赤坂田町通り店 東京都港区赤坂 3-6-17 ダイムラービル 1F

TEL・FAX 03-3568-2230

浅草すし賢

つくばエクスプレス浅草駅徒歩 0 分

〒111-0032 東京都台東区浅草 2 -11-4

TEL 03 (5246) 6547

ハラール(halal) 認証店

(株) 双葉商事

ホテル ニューヨーク

代表取締役 梁瀬 広実

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 6-8-28

TEL 03-3629-4151

居酒屋 てる

韓国家庭料理

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 6-3-4
TEL 03-3803-3837

やきとん大王 上野店

縁商事グループ

代表取締役 李 京 旻

〒110-0005 東京都台東区上野 6-11-14
※上野駅より徒歩 2 分
TEL 03-3831-9275・050-5348-0203
<http://www.ensyouji.co.jp>



置き敷き塩ビ床タイルメーカー

代表取締役 永田 藏哲

〒125-0062 東京都葛飾区青戸 5-19-20
Tel : 03-5832-9310 Fax : 03-5832-9311
<http://www.nagata-eco.co.jp/>

南 栄 商 事 株 式 会 社

代表取締役 河 尚 利
(河野裕二)

〒272-0026 千葉県市川市大和田 2-7-11
TEL 047-377-5011 FAX 047-377-5012



有限会社 光 栄 〒277-0005 千葉県柏市 6-9-22
TEL 04-7163-8853 FAX 04-7163-8863
宝 来 館 〒277-0921 千葉県柏市大津ヶ丘 1-49-2
TEL 04-7191-2390 FAX 04-7193-7213
金 の ぶ た 〒277-0005 千葉県柏市柏 4-5-24
TEL 04-7197-6769
株式会社リポーンズ 〒277-0921 千葉県柏市大津ヶ丘 1-54 5棟 102
TEL 04-7191-3736 FAX 04-7191-3737
HARUHARU 〒277-0005 千葉県柏市 1-7-1 Day One Tower 1F
TEL 04-7168-9225 FAX 04-7168-9226

会 長 高 誠 彦

心の故郷済州

在日本関東済州道民協会

顧 問

鄭 平 普

在 日 済 州 婦 人 会

常任顧問

金 貞 子

麻布十番焼肉 栄来亭

〒106-0045

東京都港区麻布十番 2-2-1 1 階

TEL 03-3451-5630



麻布十番 豚とんぶ

〒106-0045

東京都港区麻布十番 2-2-1 2・3 階

TEL 03-3455-2126

韓国時事週刊紙

コリアニュース

日本支社支社長 高 仁 琴

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 3-14-3-604

TEL・FAX 03-5811-6349

H/P 080-5009-6349

発行所

제민일보

www.jemin.com

済州道民のプライド

徳山ミシン加工所

代 表

洪 龍次郎

在日本関東済州道民協会 監 査

在日本韓国民団足立支部 常任顧問

〒123-0845

東京都足立区西新井本町 4-25-21

TEL 03-3890-1836

The Live Music Club

Yellow リボン

代 表

金 聖 宗

〒113-0034

東京都文京区湯島 3-36-8 吉田ビル 2F

TEL 03-3835-6090

携帯 090-2214-9210

<http://www.yellow-r.com>



ハッピーライフ 株式会社

不動産業務全般

代表取締役
安 英 富

〒171-0021
東京都豊島区西池袋 3-26-6

水刺間株式会社

代表取締役

金 相 憲

〒260-0021
千葉県中央区新宿 2-7-33-A211

韓 愛 株 式 会 社

代表取締役

李 大 浩

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 6-30-7
TEL 03-3620-8658 携帯 090-5504-2532

ケアセンター家族

(有)健康ライブ

代表取締役 **夫 奉 秋**

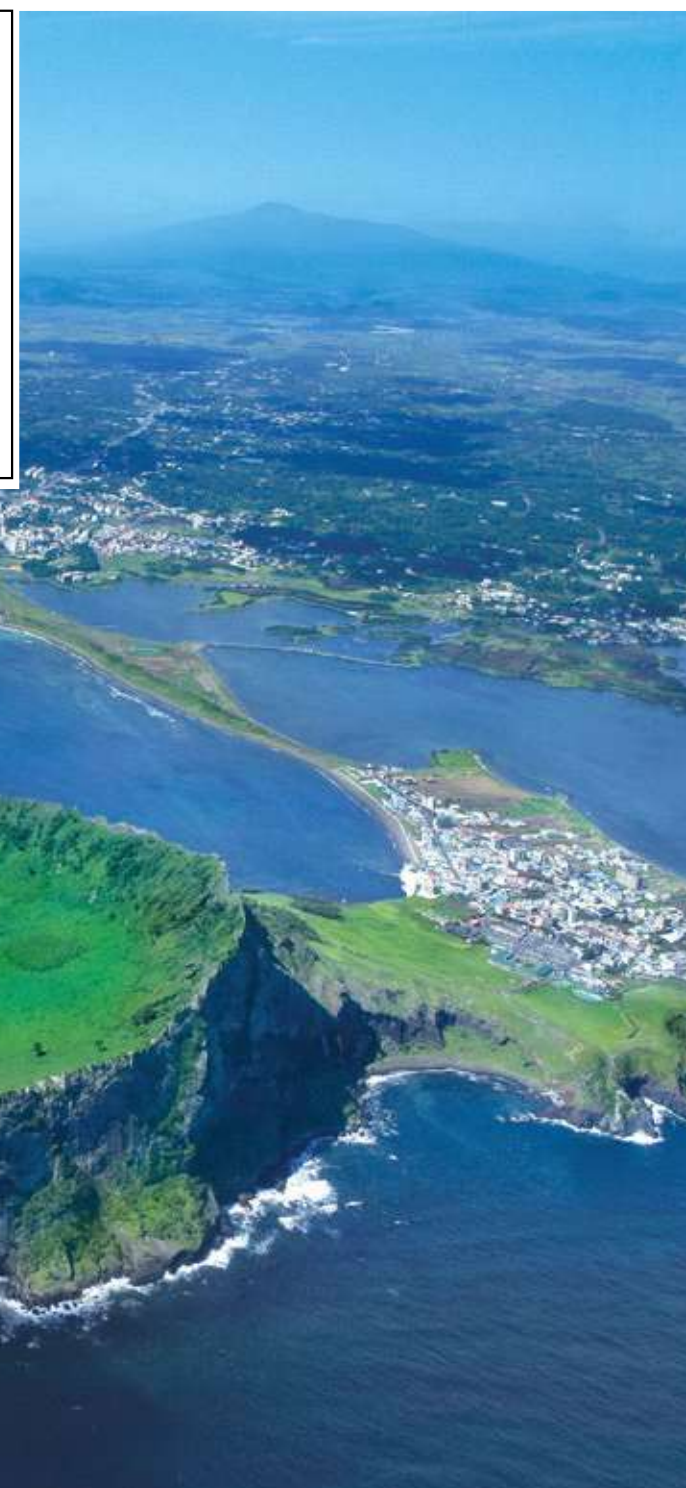
〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-14-5
TEL 03-3873-1113

(有)中山ビニール工業

代表取締役

金 秀 吉

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 1-22-1
TEL 03-3891-8551



有限会社 ミヤウチ

代表取締役会長

金宮 正雄

〒116-0013
東京都荒川区西日暮里 2-34-3
TEL 03-3803-2267
FAX 03-3803-2269





TKK総合レジャー産業

(株)ヌーボ

(有)東海観光

(有)プラスワン

東京観光興業(株)

(有)エフアールシー

スリーサウザンド(株)

(株)フランシス

(株)ジュピター



代表 金光一

民主平和統一諮問会議 ——— 日本地域会議 副議長

(一社)在日韓国商工会議所 — 常 任 顧 問

東京韓国商工会議所 ——— 常 任 顧 問

日韓親善協会中央会 ——— 副 会 長

東京日韓親善協会連合会 — 顧 問

在日本関東済州道民協会 — 相 談 役

〒105-0004

東京都港区新橋4-5-1アーバン新橋ビル3階

TEL : (03)6435-9111 FAX : (03)6435-9170

HP : 東京観光興業 <https://tkkep.com/> 株式会社フランシス <https://f-cis.jp>

編集後記

この度は在日本関東済州道民協会、創立60周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

設立から当協会の歩みを振り返りますと諸先輩方々の崇高な理念と郷土愛によって、済州道の開発・発展がなされた事を改めて誇りに思う次第であります。

記念誌編集にあたり、この10年間をまとめましたが10年前の事業がつい先日 of 事のように思い出されました。時の過ぎるのは早いものだ感慨にふけてしまいました。

しかし、60周年はまだ道半ばであります。

諸先輩方々の熱い想い・絆を大切に、またこれからの在日3世4世たちの新しい発想に期待し、100周年を迎えることができることを心より祈念し結びとさせていただきます。

最後に顧問・相談役・会員の皆様より多大な協賛をいただき、記念誌を発行することが出来ました事、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

梁 日 勲

漢拏山

第10号 60周年記念号

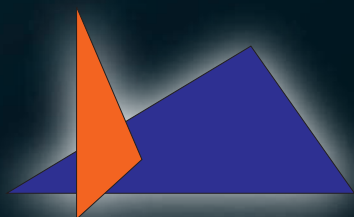
発行日 2022年7月1日
発行人 梁 日 勲
編集人 李 始 禹
発行所 在日本関東済州道民協会
東京都文京区湯島3丁目19番5号
電話 03-3832-4411 FAX 03-3832-5078
ホームページ www.jejudomin.org

編集協力 ケイビーエス株式会社
印刷 電話 06-6716-5665 FAX 06-6711-2104

漢
肇
山

第
10
号

60
周
年
記
念
号



在日本関東济州道民協会

在
日
本
關
東
濟
州
道
民
協
會